



神奈川県  
鎌倉保健福祉事務所

# 鎌倉保健福祉事務所年報

---

2014(平成26)年度

神奈川県鎌倉保健福祉事務所

# 目 次

## 第1章 概要

1 鎌倉保健福祉事務所の概要	1
(1) 沿革	1
(2) 所管区域	2
(3) 機構及び分掌事務	3
(4) 職種別職員配置状況	4
(5) 施設の状況	4
(6) 経理状況	5
2 圏域の概要	6
(1) 圏域区域	6
(2) 面積及び人口等	6
(3) 人口の推移	6
(4) 5歳階級別人口	7
(5) 年齢(3区分)別人口及び構成比	8
(6) 保健・医療・福祉施設総括表	9

## 第2章 管理課

1 表彰	11
(1) 神奈川県保健衛生表彰(知事)	11
(2) 神奈川県保健衛生表彰(保健福祉事務所長)	11
(3) 神奈川県献血推進功労者表彰(知事)	11
(4) 神奈川県献血推進功労者表彰(保健福祉事務所長)	11
2 免許事務取扱い件数	12

## 第3章 企画調整課

企画調整課業務	13
1 保健・医療・福祉施策に関する総合的企画調整	14
(1) 三浦半島地区保健医療福祉推進会議	14
(2) 三浦半島地区地域・職域連携推進会議	14
(3) 保健福祉サービス連携調整部会	14
(4) 鎌倉保健福祉事務所地域包括ケア連絡会議	15
(5) 地域保健師業務連絡会議	15
(6) 保健師活動実績	16
(7) 地域の健康課題を把握するための地域診断事業	16
2 保健・医療・福祉に関する情報提供と普及啓発	17
(1) 市町広報紙・地域FM放送等による情報の提供	17
3 保健・福祉人材の育成	18
(1) 保健衛生研修	18
(2) 実習生指導	18

4	保健統計等	19
(1)	人口動態調査	19
(2)	衛生行政報告例(母体保護に関する統計部分)	19
(3)	国民生活基礎調査	19
(4)	社会保障・人口問題基本調査 世帯動態調査	19
(5)	国民生活基礎調査(所得票)・所得再分配調査	19
(6)	医療施設動態調査	19
(7)	医療施設静態調査	19
(8)	患者調査	20
(9)	受療行動調査	20
(10)	医師・歯科医師・薬剤師調査	20
(11)	業務従事者届	20
(12)	病院報告	20
(13)	地域保健・健康増進事業報告	20
(14)	福祉行政報告例	20
5	医務・献血関係	21
(1)	医療施設数・人口10万対率(市町別)	21
(2)	医療施設数・人口10万対率年次推移	21
(3)	病床数・人口10万対率(市町別)	22
(4)	病床数・人口10万対率年次推移	22
(5)	医務関係許可等取扱い件数	23
(6)	立入検査	23
(7)	医療従事者数・人口10万対率(市町別)	23
(8)	献血数・目標数(市町別)	24
(9)	年次別献血数・目標数	24
6	たばこ対策	25
(1)	受動喫煙防止条例の施行に係る普及啓発等	25
(2)	地域禁煙サポート推進事業	25

## 第4章 保健福祉課

	保健福祉課業務	26
1	母子保健	28
(1)	思春期保健事業	28
(2)	生涯を通じた女性の保健相談等事業	28
(3)	不妊に悩む方への特定治療支援事業	30
(4)	小児医療援護	30
(5)	養育支援事業	31
(6)	保健福祉サービス連携調整会議(母子保健委員会)	32
(7)	病院との継続看護	32
(8)	母子保健事業連絡会	32
2	成人・高齢者保健	33
(1)	がん検診普及啓発セミナー	33
(2)	地域企業におけるがん検診受診促進事業	33
(3)	健康増進評価事業	34

(4) 救急法普及啓発事業	34
3 栄養・食生活対策	35
(1) 保健福祉サービス連携調整会議(地域食生活対策推進協議会)	35
(2) 広域的・専門的栄養改善活動	35
(3) 特定給食等指導	37
(4) 行政栄養士との連携・連絡調整	38
(5) 人材育成	38
(6) 国民健康・栄養調査	38
4 歯科保健	39
(1) 保健福祉サービス連携調整会議(歯及び口腔の健康づくり推進委員会)	39
(2) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業	39
(3) 障害児者等歯科保健事業	39
(4) 歯周疾患予防対策事業	40
(5) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業	40
(6) 歯科健康教育	40
(7) 人材の育成	40
(8) 歯の健康づくり事業	41
(9) 8020 運動推進員養成事業	41
(10) その他	41
5 地域福祉	42
(1) 民生委員・児童委員の活動	42
(2) 障害福祉相談員の研修	42
(3) 地域福祉の人材育成	42
(4) 成年後見制度普及啓発事業	43
(5) バリアフリーのまちづくり普及啓発事業	43
(6) 横須賀・三浦障害保健福祉圏域相談支援等ネットワーク形成事業	43
(7) 管内市町等への支援	44
6 介護保険	45
(1) 介護保険指定事業者指導等事業	45
(2) 事業者実施指導担当者連絡会議	46
(3) 施設職員研修	46
7 生活福祉の業務	47
(1) 生活保護業務	47
(2) 特別障害者手当等の支給状況	48
(3) 母子福祉資金等の貸付	48
(4) 母子・父子自立支援員の設置	49
(5) 関連する業務	49

## 第5章 保健予防課

保健予防課業務	50
1 結核予防	52
(1) 健康診断	52
(2) 保健指導	52
(3) 結核医療従事者研修	52



(4) 結核患者の状況	53
(5) 感染症診査協議会・結核部会	54
2 感染症予防	55
(1) 全数把握対象疾患情報（結核は除く）	55
(2) 感染症施設集団発生報告	56
(3) 集団かぜ（インフルエンザ）による臨時休業状況（延べ数）	57
(4) 健康教育	57
(5) 肝疾患対策	57
3 エイズ予防	58
(1) エイズ相談・検査	58
(2) エイズ予防普及事業	58
4 難病対策	59
(1) 特定疾患医療給付	59
(2) 相談	60
(3) 訪問指導	60
(4) 医療相談等	60
(5) 在宅療養支援計画策定・評価事業	60
(6) 健康教育	60
5 原爆被爆者援護	61
(1) 被爆者健康手帳等交付状況	61
(2) 被爆者等定期健康診断受診状況	61
6 認知症対策	61
(1) 相談事業	61
(2) 訪問指導	62
(3) 処遇困難事例検討事業	62
(4) 地域支援	63
7 精神保健福祉	64
(1) 相談・訪問指導	64
(2) 教育広報活動	65
(3) 団体支援及び連携	65
(4) 社会復帰の支援	66
(5) 精神保健福祉業務	66
(6) 会議	67
(7) こころといのちのサポート事業	68

## 第6章 環境衛生課

環境衛生課業務	69
1 環境衛生営業施設等の衛生確保	70
(1) 環境衛生営業施設数及び監視指導状況	70
(2) 水浴場等施設数及び監視指導状況	70
(3) 講習会開催状況	70
(4) 免許事務取扱い件数	70
(5) 海水浴場の水質検査実施状況	71

2	生活環境施設等の衛生確保	72
(1)	浄化槽設置基数及び監視指導状況	72
(2)	浄化槽保守点検業者登録数及び監視指導状況	72
(3)	特定建築物施設数及び監視指導状況	72
(4)	建築物登録業営業所数及び監視指導状況	73
(5)	水道施設数及び監視指導状況	73
(6)	小規模水道等施設数及び監視指導状況	73
(7)	住まいと健康サポートシステムの推進	73
(8)	温泉施設数及び監視指導状況	73
(9)	苦情・相談等処理状況	73
3	動物保護対策	74
(1)	飼えなくなった犬、猫の引き取り	74
(2)	こう傷事故の発生状況	74
(3)	犬、猫等の苦情相談の処理状況	74
	(参考事項) 市町の犬の登録及び狂犬病予防注射実施状況	74
4	医薬品等の安全性確保	75
(1)	薬局・医薬品販売業等施設数及び監視指導状況	75
(2)	薬局・医薬品販売業等許可・届出取扱い件数	75
(3)	毒物・劇物販売業等施設数及び監視指導状況	75
(4)	毒物・劇物販売業等登録・届出取扱い件数	76
(5)	麻薬等業務所数及び監視指導状況	76
(6)	麻薬免許事務等取扱い件数	76
(7)	覚せい剤取扱者数及び監視指導状況	77
(8)	覚せい剤事務取扱い件数	77
(9)	薬物乱用防止啓発活動	77

## 第7章 食品衛生課

	食品衛生課業務	79
1	食品営業施設の許認可事務及び監視指導	80
(1)	許可を要する営業施設	80
(2)	許可を要しない営業施設	81
(3)	営業施設数の年度別推移(5年間)	81
(4)	調理師免許等関係事務の取扱い	81
2	食品等の収去検査	82
(1)	食品等の品目別検査結果	82
(2)	検体数及び不適検体数の年度別推移(5年間)	82
3	普及啓発の実施	83
(1)	食品衛生講習会の実施状況	83
4	食中毒等の処理	83
(1)	食品毒の発生状況	83
5	食品関係等の苦情処理	83
(1)	食品等の苦情処理	83
(2)	苦情処理件数の年度別推移(5年間)	83

## <資料>

1	人口動態統計	84
2	出生統計	89
3	死亡統計	97
4	福祉統計	107
5	神奈川県公衆衛生協会会長表彰	110
6	神奈川県公衆衛生協会鎌倉支部長表彰	110
7	刊行物発行実績	111
8	職員の研究・学会等発表	111

## <本書の見方>

- 1 表の時点について特に付記のないものは、平成27年3月31日現在です。
- 2 表中の記号の用法は次のとおりです。

・合計欄以外で計数のない場合	—
・計数不明の場合	…
・統計項目のありえない場合	<input checked="" type="checkbox"/>
・比率が微小(0.05未満)の場合	0.0

# 第 1 章 概 要

# 1 鎌倉保健福祉事務所の概要

## (1) 沿革

### ア 鎌倉保健所

- 1944（昭和19）年10月 逓信省簡易保険鎌倉健康相談所（鎌倉市大町久保 27-1、通称琵琶小路、現鎌倉市由比ガ浜 2-3-11 鎌倉市授産所）の廃止に伴い、その施設を継承し、神奈川県鎌倉保健所として発足し、業務を開始。所管区域は、鎌倉市と鎌倉郡（深沢村、大船町、片瀬町）。
- 1948（昭和23）年6月 鎌倉郡が鎌倉、藤沢両市に分割併合され、鎌倉市を所管。  
（深沢村は昭和23年1月、大船町は昭和23年6月鎌倉市に編入、片瀬町は昭和22年4月藤沢市に編入。）
- 1949（昭和24）年7月 三浦郡葉山町が町民の要望により、三崎保健所の所管区域から鎌倉保健所の所管区域となる。
- 1950（昭和25）年7月 逗子が横須賀市から分離し、三浦郡逗子町となり、鎌倉保健所の所管区域となる。
- 1951（昭和26）年10月 神奈川県保健所整備拡充計画に基づき、鎌倉市乱橋材木座 1219（現由比ガ浜 2-16-13）に新築移転。
- 1953（昭和28）年10月 課制が施行され、総務課、衛生課、保健予防課を設置。
- 1953（昭和28）年11月 葉山支所を葉山町一色 2017 に設置。
- 1963（昭和38）年3月 庁舎を改築。
- 1969（昭和44）年7月 総務課が管理課に改称。
- 1970（昭和45）年7月 次長制を施行するとともに、保健予防課から保健婦業務を分離し、保健婦室を設置。
- 1974（昭和49）年8月 衛生課を2課に分割し、環境衛生課と食品衛生課を設置。
- 1977（昭和52）年4月 逗子市桜山 6-12-22 に逗子保健ステーションを設置。
- 1983（昭和58）年6月 保健婦室を廃止し、健康指導課を設置。
- 1985（昭和60）年4月 保健所試験検査業務集中処理の実施に伴い、鎌倉保健所の試験検査業務を藤沢保健所に集中し、鎌倉保健所の試験検査業務は廃止。
- 1987（昭和62）年11月 葉山支所の庁舎を葉山町一色 1503-2 に新築し、移転。
- 1989（平成元）年4月 逗子保健ステーションを逗子市に移管。
- 1993（平成5）年4月 部制が施行され、保健衛生部、環境衛生部の2部4課及び管理課となり、次長が副所長となる。
- 1997（平成9）年3月 葉山支所を廃止。
- 1997（平成9）年4月 横須賀三浦地区行政センター福祉部の一部を統合し、鎌倉保健福祉事務所として設置。管理課、企画調整室、保健福祉部（保健福祉課、保健予防課）、生活衛生部（環境衛生課、食品衛生課）の2部1室5課体制となる。
- 2007（平成19）年6月 行政組織規則の一部改正により、企画調整室が企画調整課となり、2部6課体制となる。
- 2008（平成20）年4月 行政機関設置条例および行政組織規則の一部改正により、保健福祉事務所、保健所、福祉事務所が統合され、保健福祉事務所となる。
- 2014（平成26）年4月 行政機関設置条例および行政組織規則の一部改正により、鎌倉保健福祉事務所と三崎保健福祉事務所が統合され、鎌倉保健福祉事務所となる。また、支所として鎌倉保健福祉事務所三崎センターが設置される。

## イ 福祉事務所

- 1951（昭和 26）年 10 月 社会福祉事業法の施行に伴い、三浦郡（三浦町、逗子町、葉山町）を所管区域とし、三浦福祉事務所が三浦地方事務所内（三浦町六合 3570）に設置され、所長（地方事務所長兼務）のほか次長がおかれ、庶務課、保護課の 2 課制で発足。
- 1955（昭和 30）年 7 月 三浦福祉事務所が廃止され、三浦郡葉山町は（逗子町は昭和 29 年 4 月、三浦町は昭和 30 年 1 月市制施行）中福祉事務所（平塚市平塚 1713）の所管区域となる。  
また、次長制が廃止され、保護課が福祉課に改称。
- 1967（昭和 42）年 6 月 次長制が復活され庶務課が総務課に、福祉課が保護課に改称。
- 1969（昭和 44）年 7 月 中福祉事務所が湘南福祉事務所に改称され、事務所は平塚市西八幡 1-3-1、合同庁舎に移転。  
また、所長は地方事務所長の兼務から専任所長制になり、総務課が管理課に改称。
- 1974（昭和 49）年 8 月 管理課に管理係、保護課に保護係、福祉係が置かれ、2 課 3 係制となる。
- 1981（昭和 56）年 6 月 保護課が福祉課に改称され、保護係、福祉係の 2 係制が廃止。
- 1982（昭和 57）年 6 月 管理課の管理係が廃止。
- 1985（昭和 60）年 4 月 横須賀三浦地区行政センターに福祉部が設置されるとともに、葉山福祉事務所が同行政センターの付置機関として設置され、三浦郡（葉山町）は葉山福祉事務所の所管区域となる。  
また、葉山福祉事務所は同行政センター福祉部におかれ、所長は同行政センター所長の兼務となる。
- 1997（平成 9）年 4 月 横須賀三浦地区行政センター福祉部の一部と鎌倉保健所との統合により葉山福祉事務所は鎌倉保健福祉事務所に併置され、所長は鎌倉保健福祉事務所長の兼務となる。
- 2007（平成 19）年 6 月 行政組織規則の一部改正により、企画調整室が企画調整課となり、2 部 6 課体制となる。
- 2008（平成 20）年 4 月 行政機関設置条例および行政組織規則の一部改正により、保健福祉事務所、保健所、福祉事務所が統合され、保健福祉事務所となる。

## （2）所管区域

ア 三浦半島地区に関する保健福祉にかかる総合調整、福祉関連事業

横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町の 4 市 1 町

イ 保健所業務

鎌倉市、逗子市、葉山町の 2 市 1 町

（三浦市は鎌倉保健福祉事務所三崎センター、保健所政令市である横須賀市は横須賀市保健所が所管）

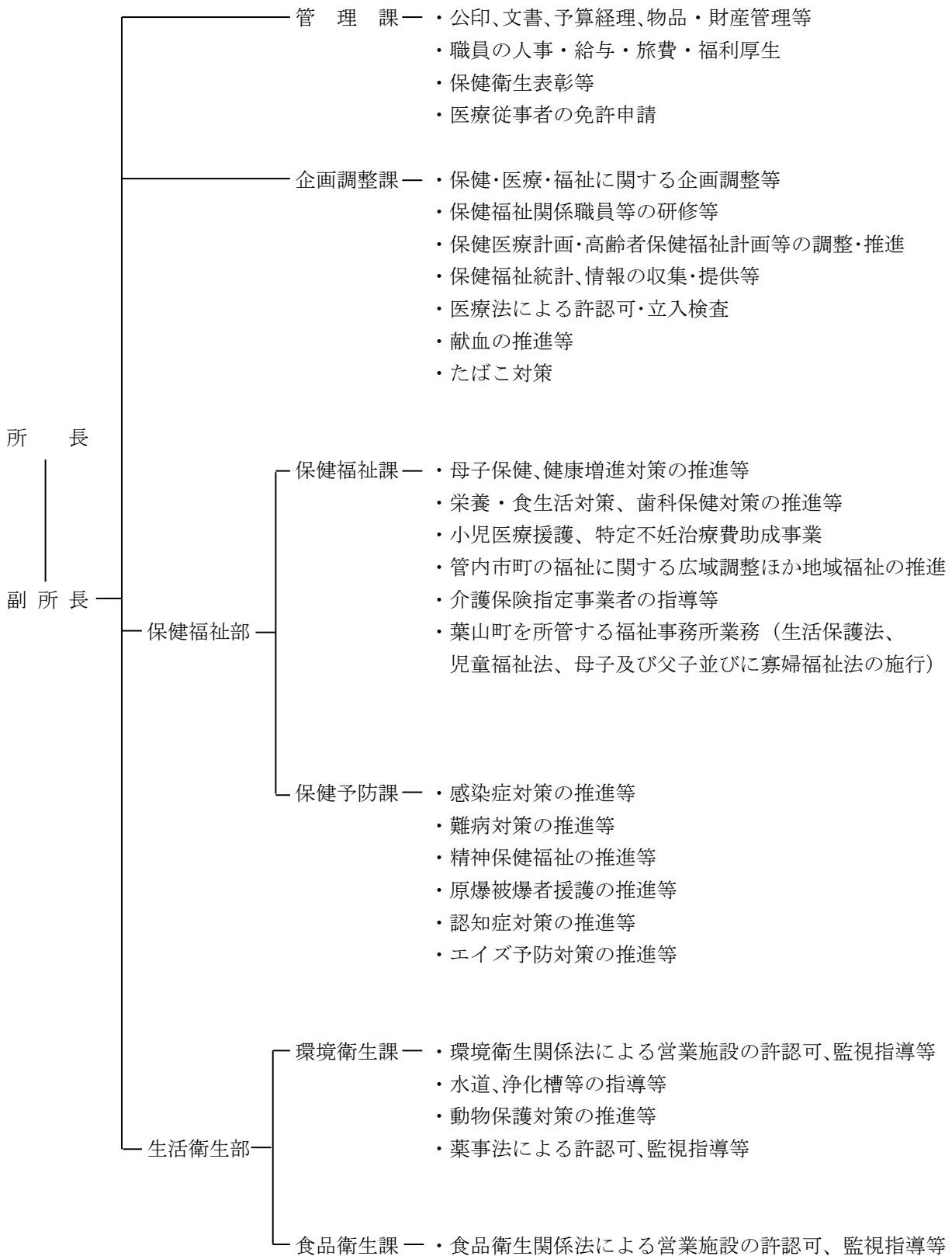
ウ 生活福祉業務

葉山町

エ 神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例関係

横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町の 4 市 1 町

(3) 機構及び分掌事務



## (4) 職種別職員配置状況

平成 26 年 4 月 1 日現在

職 種	一 般 事 務 職	福 祉 職	医 師	歯 科 医 師	診 療 放 射 線 技 師	歯 科 衛 生 士	栄 養 士	保 健 師	狂 犬 病 予 防 員	衛 生 監 視 員	自 動 車 運 転 員	臨 時 的 任 用 職 員	再 任 用 職 員	非 常 勤 職 員	計
職員数	18	5	2	1	1	1	2	10	1	10	1	2	4	14	72

## (5) 施設の状況

所在地	鎌倉市由比ガ浜 2-16-13	
土地	面積	1,546.36 m <sup>2</sup>
	取得年月日	1952 (昭和 27) 年 9 月 10 日
建物	構造	本館 鉄筋コンクリート 車庫他 コンクリートブロック他
	規模	本館 地下 1 階地上 3 階 車庫他 平屋 4 棟
	面積	本館 1,318.22 m <sup>2</sup> 車庫他 72.26 m <sup>2</sup>
	取得年月日	本館 1963 (昭和 38) 年 3 月 30 日 車庫他 1963 (昭和 38) 年 3 月 30 日



## (6) 経理状況

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
計	20,153,401	計	238,144,506
一般会計	20,153,401	一般会計	238,138,506
負担金	0	総務管理費	19,331,239
民生費負担金	0	一般管理費	15,911,959
使用料	14,227	財産管理費	3,419,280
衛生使用料	14,227	社会福祉費	27,013,690
手数料	17,638,210	社会福祉総務費	27,013,690
衛生手数料	17,638,210	児童福祉費	6,589,948
財産運用収入	490,000	児童福祉総務費	586,108
財産貸付収入	490,000	児童措置費	4,824,108
立替収入	130,193	母子福祉費	1,179,732
衛生立替収入	130,193	障害福祉費	3,649,720
雑入	1,880,771	障害福祉総務費	3,649,720
雑入	1,880,771	老人福祉費	564,866
		老人保健福祉総務費	471,166
		介護保険事業費	93,700
		生活保護費	154,646,967
		生活保護総務費	5,415,861
		扶助費	149,231,106
		公衆衛生費	7,359,873
		公衆衛生総務費	1,629,097
		予防費	3,947,885
		精神保健福祉費	1,021,651
		生活習慣病対策費	231,500
		衛生研究所費	529,740
		環境衛生費	773,804
		生活衛生指導費	773,804
		保健所費	17,915,699
		保健所費	17,915,699
		医薬費	292,700
		医務費	148,000
		救急医療対策費	28,700
		薬務費	116,000
		母子寡婦福祉資金会計	6,000
		事務費	6,000
		貸付事務費	6,000

## 2 圏域の概要

### (1) 圏域区域



### (2) 面積及び人口等

2014(平成26)年10月1日現在

市町名	面積 (km <sup>2</sup> )	人 口 (人)			世帯数 (世帯)	一世帯 当たり 人数 (人)	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	一年間の 人口増 (人)
		男	女	計				
横須賀市	100.83	203,112	204,128	407,240	165,755	2.46	4,044	▲ 2,850
鎌倉市	39.66	81,707	91,823	173,530	73,701	2.35	4,382	7
逗子市	17.28	27,093	30,636	57,729	24,164	2.39	3,329	▲ 130
三浦市	32.05	21,977	23,771	45,748	17,816	2.57	1,417	▲ 692
葉山町	17.04	15,281	17,197	32,478	12,710	2.56	1,904	▲ 67
計	206.86	349,170	367,555	716,725	294,146	2.44	3,465	▲ 3,732
神奈川県	2,415.81	4,548,781	4,550,203	9,098,984	3,970,674	2.29	3,766	17,242

県勢要覧・神奈川県人口統計調査

### (3) 人口の推移

各年10月1日現在

年次別	横須賀市		鎌倉市		逗子市		三浦市		葉山町		計	
	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率
2006年 (平成18)	423,151	▲ 0.7	172,820	1.0	58,406	0.7	49,646	▲ 0.4	31,710	0.6	735,733	▲ 0.1
2007年 (平成19)	422,040	▲ 0.3	173,263	0.3	58,600	0.3	49,422	▲ 0.5	31,919	0.7	735,244	▲ 0.1
2008年 (平成20)	420,719	▲ 0.3	173,439	0.1	58,660	0.1	49,014	▲ 0.8	32,234	1.0	734,066	▲ 0.2
2009年 (平成21)	419,838	▲ 0.2	174,164	0.4	58,738	0.1	48,671	▲ 0.7	32,389	0.5	733,800	0.0
2010年 (平成22)	418,325	▲ 0.4	174,314	0.1	58,302	▲ 0.7	48,352	▲ 0.7	32,766	1.2	732,059	▲ 0.2
2011年 (平成23)	416,252	▲ 0.5	174,250	0.0	58,323	0.0	47,880	▲ 1.0	32,861	0.3	729,566	▲ 0.3
2012年 (平成24)	413,302	▲ 0.7	174,162	▲ 0.1	57,983	▲ 0.6	47,141	▲ 1.5	32,813	▲ 0.1	725,401	▲ 0.6
2013年 (平成25)	410,090	▲ 0.8	173,523	▲ 0.4	57,859	▲ 0.2	46,440	▲ 1.5	32,545	▲ 0.8	720,457	▲ 0.7
2014年 (平成26)	407,240	▲ 0.7	173,530	0.0	57,729	▲ 0.2	45,748	▲ 1.5	32,478	▲ 0.2	716,725	▲ 0.5

神奈川県人口統計調査

## (4) 5歳階級別人口

2014(平成26)年1月1日現在

市町名		0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
横須賀市	男	7,507	8,316	9,418	11,135	10,986	10,772	11,308	14,278	16,690
	女	7,210	7,809	8,808	9,175	8,916	9,151	9,943	12,722	15,057
	計	14,717	16,125	18,226	20,310	19,902	19,923	21,251	27,000	31,747
鎌倉市	男	3,327	3,611	3,782	3,582	3,188	3,354	4,091	5,667	7,047
	女	3,210	3,436	3,698	3,438	3,430	3,521	4,337	6,066	7,688
	計	6,537	7,047	7,480	7,020	6,618	6,875	8,428	11,733	14,735
逗子市	男	1,102	1,165	1,299	1,314	1,071	997	1,182	1,853	2,267
	女	1,020	1,161	1,206	1,264	1,031	1,018	1,349	1,953	2,532
	計	2,122	2,326	2,505	2,578	2,102	2,015	2,531	3,806	4,799
三浦市	男	620	776	911	1,095	1,023	967	977	1,246	1,542
	女	597	780	927	1,010	988	937	963	1,181	1,479
	計	1,217	1,556	1,838	2,105	2,011	1,904	1,940	2,427	3,021
葉山町	男	706	765	843	743	521	440	640	959	1,355
	女	631	733	789	734	544	494	743	1,168	1,538
	計	1,337	1,498	1,632	1,477	1,065	934	1,383	2,127	2,893
計	男	13,262	14,633	16,253	17,869	16,789	16,530	18,198	24,003	28,901
	女	12,668	13,919	15,428	15,621	14,909	15,121	17,335	23,090	28,294
	計	25,930	28,552	31,681	33,490	31,698	31,651	35,533	47,093	57,195

市町名		45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	計
横須賀市	男	14,070	12,431	11,605	15,145	15,003	14,021	10,364	11,127	204,176
	女	13,081	11,556	11,575	15,793	16,902	15,495	12,268	19,702	205,164
	計	27,151	23,987	23,180	30,938	31,905	29,516	22,632	30,829	409,340
鎌倉市	男	6,734	5,534	4,473	5,387	5,872	5,404	4,612	5,921	81,631
	女	6,698	5,453	4,728	6,309	7,104	6,861	5,657	10,150	91,817
	計	13,432	10,987	9,201	11,696	12,976	12,265	10,269	16,071	173,448
逗子市	男	2,246	1,950	1,518	1,894	1,971	1,909	1,529	1,971	27,240
	女	2,291	1,946	1,698	2,051	2,448	2,381	1,993	3,285	30,628
	計	4,537	3,896	3,216	3,945	4,419	4,290	3,522	5,256	57,868
三浦市	男	1,443	1,347	1,513	2,098	2,001	1,759	1,345	1,582	22,270
	女	1,397	1,359	1,533	2,169	2,065	2,009	1,645	2,970	24,013
	計	2,840	2,706	3,046	4,267	4,066	3,768	2,990	4,552	46,283
葉山町	男	1,302	1,020	851	1,022	1,150	1,133	865	1,020	15,337
	女	1,291	972	868	1,194	1,471	1,285	1,017	1,757	17,230
	計	2,593	1,992	1,719	2,216	2,621	2,418	1,882	2,777	32,567
計	男	25,795	22,282	19,960	25,546	25,997	24,226	18,715	21,621	350,654
	女	24,758	21,286	20,402	27,516	29,990	28,031	22,580	37,864	368,852
	計	50,553	43,568	40,362	53,062	55,987	52,257	41,295	59,485	719,506

(注) 計には「年齢不詳」を含む。

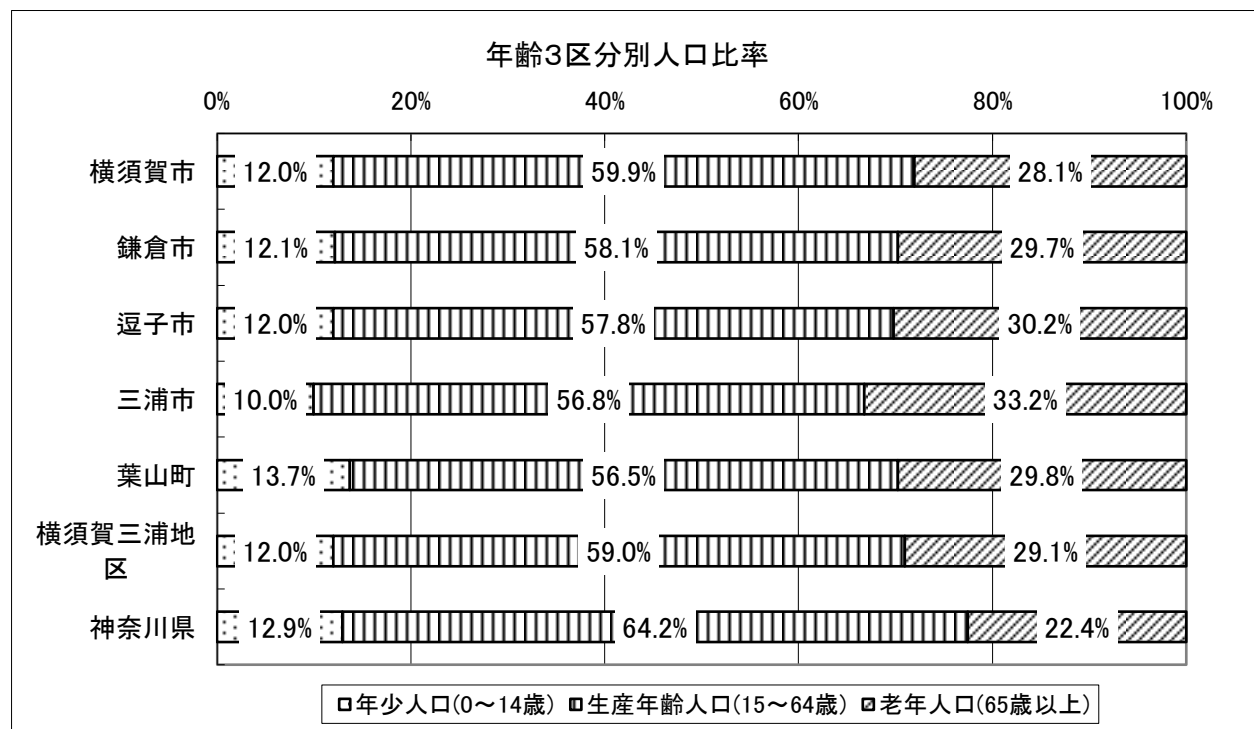
神奈川県年齢別人口統計調査結果報告

(5) 年齢(3区分)別人口及び構成比

2014(平成26)年1月1日現在

団体名		年少人口(0~14歳)		生産年齢人口(15~64歳)		老年人口(65歳以上)		計
		数	率	数	率	数	率	
横須賀市	男	25,241	12.4%	128,420	62.9%	50,515	24.7%	204,176
	女	23,827	11.6%	116,969	57.0%	64,367	31.4%	
	計	49,068	12.0%	245,389	59.9%	114,882	28.1%	
鎌倉市	男	10,720	13.1%	49,057	60.1%	21,809	26.7%	81,631
	女	10,344	11.3%	51,668	56.3%	29,772	32.4%	
	計	21,064	12.1%	100,725	58.1%	51,581	29.7%	
逗子市	男	3,566	13.1%	16,292	59.8%	7,380	27.1%	27,240
	女	3,387	11.1%	17,133	55.9%	10,107	33.0%	
	計	6,953	12.0%	33,425	57.8%	17,487	30.2%	
三浦市	男	2,307	10.4%	13,251	59.5%	6,687	30.0%	22,270
	女	2,304	9.6%	13,016	54.2%	8,689	36.2%	
	計	4,611	10.0%	26,267	56.8%	15,376	33.2%	
葉山町	男	2,314	15.1%	8,853	57.7%	4,168	27.2%	15,337
	女	2,153	12.5%	9,546	55.4%	5,530	32.1%	
	計	4,467	13.7%	18,399	56.5%	9,698	29.8%	
計	男	44,148	12.6%	215,873	61.6%	90,559	25.8%	350,654
	女	42,015	11.4%	208,332	56.5%	118,465	32.1%	
	計	86,163	12.0%	424,205	59.0%	209,024	29.1%	
神奈川県	男	597,461	13.1%	3,004,847	66.1%	909,200	20.0%	4,544,069
	女	570,589	12.6%	2,822,656	62.2%	1,126,858	24.8%	
	計	1,168,050	12.9%	5,827,503	64.2%	2,036,058	22.4%	

(注) 計には「年齢不詳」を含む。



(6) 保健・医療・福祉施設総括表

ア 医療関係

施設		市町	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	計
医療施設等	病院		13	13	2	2	1	31
	一般診療所		327	165	66	27	17	602
	歯科診療所		240	128	46	24	15	453
	助産所		16	11	5	—	—	32
	歯科技工所		77	21	6	7	6	117
薬事施設	薬局		182	94	33	21	5	335
	医薬品販売業		85	25	6	9	6	131
施術所	あんま・はり・きゅう		386	287	122	60	53	908
	柔道整復		137	48	20	12	5	222

イ 保健福祉関係

(平成26年4月1日現在)

種類		市町	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	計
保健福祉	訪問看護ステーション		18	14	3	4	—	39
	保健センター		—	—	1	—	1	2
	健康福祉センター		4	—	—	—	—	4
	福祉センター		—	1	—	1	—	2
高齢者	介護老人保健施設		9	5	2	2	1	19
	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		20	9	2	2	2	35
	介護療養型医療施設		1	2	—	—	—	3
	養護老人ホーム		2	—	—	1	0	3
	軽費老人ホーム		3	2	—	—	—	5
	老人デイサービスセンター		53	22	3	9	1	88
	地域包括支援センター		13	7	2	2	1	25
老人福祉センター		6	4	1	1	—	12	
障害者	指定障害福祉サービス	居宅介護	59	22	8	2	3	94
		重度訪問介護	54	28	8	2	3	95
		行動援護	2	3	1	—	—	6
		同行援護	15	7	2	—	2	26
		重度障害者等包括支援	—	—	—	—	—	0
		短期入所	6	4	2	1	—	13
		障害者支援施設(施設入所支援)	8	1	—	—	—	9
		共同生活援助	30	9	1	1	—	41
		療養介護	—	1	—	—	—	1
		生活介護	18	10	3	1	1	33
		自立訓練(機能訓練)	1	—	—	—	—	1
		自立訓練(生活訓練)	1	2	—	—	—	3
		就労移行支援	2	4	1	—	—	7
	就労継続支援(A型)	1	5	1	—	—	7	
	就労継続支援(B型)	12	10	3	3	1	29	
相談支援	一般相談支援(地域移行支援)	10	4	2	—	2	18	
	一般相談支援(地域定着支援)	10	4	2	2	1	19	
	特定相談支援(計画相談)	14	6	2	2	1	25	
地域活動支援センター	18	11	3	4	1	37		
障害者地域作業所	17	—	—	—	—	17		
障害児	通所支援	児童発達支援	6	4	—	1	—	11
		医療型児童発達支援	1	—	—	—	—	1
		放課後等デイサービス	12	4	—	1	—	17
		保育所等訪問支援	—	1	—	—	—	1
	入所施設	医療型障害児入所施設	—	1	—	—	—	1
		福祉型障害児入所施設	1	—	—	—	—	1
相談支援	障害児相談支援	8	6	1	1	—	16	
児童	保育所(公立)	保育所(公立)	10	6	2	—	1	19
		保育所(私立)	31	16	3	4	1	55
	助産施設	2	1	—	—	—	4	
	児童自立支援施設	—	—	—	—	—	0	
	児童養護施設	2	1	—	—	—	4	

ウ 介護保険関係

(平成27年4月1日現在)

事業所	市町	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	計
居宅介護支援		119	50	24	16	8	217
居宅サービス		349	214	63	52	24	702
訪問介護		97	65	20	14	4	200
訪問入浴介護		9	5	2	-	-	16
訪問看護		21	15	3	4	-	43
訪問リハビリテーション		2	1	-	-	-	3
居宅療養管理指導		2	3	-	-	-	5
通所介護		124	65	19	15	9	232
通所リハビリテーション		9	5	2	2	1	19
短期入所生活介護		25	9	4	5	3	46
短期入所療養介護		9	7	2	2	1	21
特定施設入居者生活介護		18	12	2	10	4	46
福祉用具貸与		17	13	5	-	1	36
特定福祉用具販売		16	14	4	-	1	35
介護保険施設		30	16	5	4	3	58
介護老人福祉施設		20	9	3	2	2	36
介護老人保健施設		9	5	2	2	1	19
介護療養型医療施設		1	2	-	-	-	3
地域密着型サービス		75	25	8	17	5	130
夜間対応型訪問介護		-	-	-	-	-	0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護		4	1	-	-	1	6
認知症対応型通所介護		18	5	2	2	1	28
小規模多機能型居宅介護		7	6	1	3	1	18
看護小規模多機能型居宅介護		-	-	-	-	-	0
認知症対応型共同生活介護		46	13	5	12	2	78
地域密着型特定施設入居者生活介護		-	-	-	-	-	0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		-	-	-	-	-	0
介護予防支援		13	7	2	2	1	25
介護予防サービス		331	196	58	51	24	660
介護予防訪問介護		90	61	18	13	4	186
介護予防訪問入浴介護		8	5	1	-	-	14
介護予防訪問看護		21	15	3	4	-	43
介護予防訪問リハビリテーション		2	1	-	-	-	3
介護予防居宅療養管理指導		2	3	-	-	-	5
介護予防通所介護		116	52	17	15	9	209
介護予防通所リハビリテーション		9	5	2	2	1	19
介護予防短期入所生活介護		25	9	4	5	3	46
介護予防短期入所療養介護		9	7	2	2	1	21
介護予防特定施設入居者生活介護		16	12	2	10	4	44
介護予防福祉用具貸与		17	13	5	-	1	36
特定介護予防福祉用具販売		16	13	4	-	1	34
地域密着型介護予防サービス		68	20	7	17	4	116
介護予防認知症対応型通所介護		15	2	1	2	1	21
介護予防小規模多機能型居宅介護		7	5	1	3	1	17
介護予防認知症対応型共同生活介護		46	13	5	12	2	78
合計		985	528	167	159	69	1908

注 サービス種類ごとの指定件数であり、医療みなし指定事業所を除く。施設みなしは含む。  
ただし、介護保険施設でユニット型併設の場合でも1とする。

## 第2章 管理課

# 1 表彰

## (1) 神奈川県保健衛生表彰（知事）

（期日：2014(平成26)年11月19日（水） 場所：神奈川県庁大会議場）

氏名（施設名）	職種（業種）	備考
伊藤 昌平	医師	診療所管理者
二瓶 東洋	医師	診療所管理者
川野 邊 榮	歯科医師	歯科診療所管理者
柳 一男	食品衛生指導員	飲食店経営員
森 勝美	食生活改善推進員	団体役員
リカ 美容室	美容一般	美容所

## (2) 神奈川県保健衛生表彰（保健福祉事務所長）

（期日：2014(平成26)年11月13日（木） 場所：鎌倉保健福祉事務所）

氏名（施設名）	職種（業種）	備考
湯浅 章平	医師	診療所管理者
仲山 勲	医師	病院勤務
青木 保之	歯科医師	歯科診療所管理者
武藤 正徳	歯科医師	歯科診療所管理者
山崎 貴子	看護師	診療所勤務
山崎 光子	看護師	協会勤務
小山 省二	指圧師	施術所管理者
阪田 実	獣医師	動物病院管理者
新倉 進	食品衛生指導員	豆腐製造業
草柳 ゆき恵	食生活改善推進員	団体役員

## (3) 神奈川県献血推進功労者表彰（知事）

（期日：2014(平成26)年11月29日（土） 場所：神奈川県立音楽堂）

マルイ工業株式会社・マルイ工業労働組合

## (4) 神奈川県献血推進功労者表彰（保健福祉事務所長）

該当者なし



## 2 免許事務取扱い件数

項目	医 師	齒 科 医 師	薬 劑 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	管 理 栄 養 士	准 看 護 師	栄 養 士	診 療 放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	衛 生 検 査 技 師	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	視 能 訓 練 士	齒 科 技 工 士	指 導 員	受 胎 調 節 実 地	計
登録申請	34	5	20	6	1	37	14	1	40	4	11	—	10	7	1	—	—	—	191
籍訂正	8	1	8	11	4	59	6	5	11	1	3	1	4	3	—	—	—	—	125
再交付	1	2	3	2	—	4	—	1	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17
登録抹消	6	4	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12
計	49	12	33	19	5	100	20	7	55	5	14	1	14	10	1	0	0	0	345

## 第3章 企画調整課

## 企 画 調 整 課 業 務

保健福祉事務所は、保健・福祉を一体的に推進し、広域的・専門的な役割を持つ県機関として、平成9年4月、それまでの保健所と福祉事務所等を統合して設置されました。

企画調整課は、三浦半島の4市1町(横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)を圏域とする保健・医療・福祉の総合的な企画調整機能を始めとして、保健福祉事務所業務に関する調整や情報提供、保健・福祉人材の育成、さらに、保健統計や医事関係事務、受動喫煙防止対策などの業務を行っています。

### 1 保健・医療・福祉施策に関する総合的企画調整

三浦半島地区の保健・医療・福祉に係る重要事項を検討協議するため、三浦半島地区保健医療福祉推進会議を開催しました。

また、職域保健との連携を図るため、三浦半島地区地域・職域連携推進会議を開催したほか、管内保健福祉サービス関係機関の相互連携の推進や管内保健師業務の調整、地域の健康課題を把握するための地域診断事業等を行いました。

### 2 保健・医療・福祉に関する情報提供と普及啓発

市町広報紙・地域FM放送、所ホームページ等を通じて情報提供を行うとともに、保健福祉事務所年報を発行するなど、様々な媒体を用いて普及啓発に努めました。

### 3 保健・福祉人材の育成

保健衛生に関わる管内市町等職員の資質向上のため、市町保健師の研修を実施するとともに、栄養士、歯科衛生士等の保健福祉関係者に対する研修を実施したほか、看護、保健福祉関係の実習生の受入れ等を行いました。

### 4 保健統計等

国による人口動態統計など、保健福祉に係る各種統計調査関係業務を実施しました。

### 5 医務・献血関係

病院、診療所、施術所等の開設、変更等に伴う許認可等事務や病院、診療所に対する立入検査を行ったほか、献血の促進を図りました。

### 6 受動喫煙防止条例施行等に関する普及啓発

受動喫煙防止条例に関する一般県民向け、事業者向けの普及啓発活動を行いました。

また、喫煙防止対策を推進するため、禁煙・防煙に関する普及啓発を行いました。

## 1 保健・医療・福祉施策に関する総合的企画調整

### (1) 三浦半島地区保健医療福祉推進会議

横須賀・三浦二次保健医療圏域の病床整備状況等、地区の保健・医療・福祉の推進に関する情報の共有化及び意見のとりまとめ等を行いました。

<会議>

月 日	構 成 委 員 所 属	内 容	出席人員
3月19日	医師会 病院団体 歯科医師会 薬剤師会 社会福祉協議会 社会福祉施設 労働基準監督署 教育事務所 市町 鎌倉保健福祉事務所 三崎センター	横須賀・三浦二次保健医療圏域における病床状況について 他	21人

### (2) 三浦半島地区地域・職域連携推進会議

地域と職域が連携した健康づくりを推進するため、三浦半島地区地域・職域連携推進会議（平成20年度設置）を開催し、ラジオ体操でつなぐ地域・職域の健康づくりをテーマとする各団体の取り組みについて情報交換等を行いました。

<会議>

月 日	構 成 委 員 所 属	内 容	出席人員
1月19日	労働基準監督署 労務安全衛生協会 地域産業保健センター 商工会議所・商工会 市町（鎌倉市・逗子市・三浦市・葉山町・横須賀市保健所） 鎌倉保健福祉事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労務衛生の現状及び動向について</li> <li>・三浦半島地区地域・職域連携推進事業「ラジオ体操でつなぐ、地域・職域の健康づくり」について</li> </ul> 実施状況及び情報交換 助言者 渡部鎌二氏	20

### (3) 保健福祉サービス連携調整会議

管内における保健・医療・福祉関係者の連携による各種保健福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、4委員会を開催しました。

<委員会>

委員会名	担当課	掲載ページ
母子保健委員会	保健福祉課	32
地域食生活対策推進協議会		35
歯及び口腔の健康づくり推進委員会		39
地域精神保健福祉委員会	保健予防課	67

※詳細については、各委員会のページに記載

(4) 鎌倉保健福祉事務所地域包括ケア連絡会議(兼地域在宅医療推進会議)

地域包括ケアシステムの構築、在宅医療の推進を図るため、管内市町などの取組み状況や地域の課題についての情報交換を行う会議を開催しました。

<会議>

月 日	構成員所属	内 容	出席人員
3月11日	医師会 歯科医師会 薬剤師会 訪問看護ステーション ケアマネ連絡会 地域包括支援センター 市町 鎌倉保健福祉事務所	・地域包括ケア担当者会議について ・認知症施策について ・医療介護総合確保の取組みについて ほか	26

(5) 地域保健師業務連絡会議

管内の保健・福祉における保健師業務の情報交換、連絡協議の場として会議及び研修会を開催しました。

<会議>

月 日	場 所	内 容	出席人員
5月27日	鎌倉保健福祉事務所 講堂	議題 ① 平成25年度保健師活動実績及び平成26年度新規・重点事業計画について ② 平成25年度研修会実施報告及び平成26年度計画について ③ 新カリキュラムに対応した保健師学生実習について ④ その他	22

<合同研究会(湘南ブロック研修会)> ※茅ヶ崎・三崎保健福祉事務所と合同企画

月 日	場 所	内 容	参加人員
7月30日	茅ヶ崎保健福祉事務所	・講演「行動変容ステージに応じた成功アプローチ ～間食指導で考える生活習慣病予防～」 講師 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科教授 佐野喜子氏	34
9月30日	鎌倉市社会福祉協議会	・講演「保健師学生の新カリキュラム実習に備えて ～効果的な実習指導を通して新任期保健師育成につなげるために～」 講師 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 准教授 青柳美樹氏	25
10月29日	鎌倉保健福祉事務所	・講演「地域における乳幼児期の親子支援・発達支援のあり方 ～安心子育てをサポートするために～」 講師 言語聴覚士 中川信子氏	32

<管内保健師研修会>

月 日	場 所	内 容	参加人員
12月1日	鎌倉保健福祉事務所	・「仲間づくりを通して保健師活動を学びあい、育ちあおう！」 ・新任期保健師さんへのメッセージ ・グループワーク「仕事をしていて励みになったこと。 気持ちがあくじけそうになったこと」 ・私の仕事紹介 ・「仕事をするうえで大事なことベスト5」	11

<セクションリーダー研修会>

月 日	場 所	内 容	出席人員
5月23日	鎌倉保健福祉事務所	災害発生時の保健師活動～派遣の受入れ～ 話題提供及び意見交換	10
3月27日	鎌倉保健福祉事務所	災害発生時の保健師活動～市町と保健福祉事務所がお互いの活動 を知り災害時連携体制のあり方について考える～ 演習 被災の初動期の保健師活動	14

(6) 保健師活動実績

ア 家庭訪問・対象別件数

項目	感染症	結核	精神障害	心身障害					生活習慣病		難病	小児特定				その他疾病	未熟児		妊産婦	その他	合計
				1歳未満	6歳未満	18歳以下	39歳以下	40歳以上	39歳以下	40歳以上		1歳未満	6歳未満	18歳未満	19歳以上		1歳未満	1歳以上			
件数	16	109	18	—	6	1	1	—	—	29	41	—	23	4	—	—	—	—	—	—	248

訪問内容別再掲														
精神障害			難 病					介護保険		児童虐待	小児アレルギー疾患			高齢者虐待
社会復帰	認知症	アルコール	膠原病	血液系	循環器	神経系	消化器	専門調査	苦情等調査		喘息	皮膚炎	アトピー性	
12	4	2	3	—	—	38	—	—	—	13	—	—	—	—

イ 所内指導

項目	感染症	結核	精神障害	認知症	心身障害児	障害児	生活習慣病	難病	小児特定	その他疾病	妊婦	産婦	未熟児	乳児	幼児	思春期	エイズ	女性の健康	その他	計
面接	3	126	2	—	—	2	1	220	125	1	—	—	—	—	1	—	1	117	12	611
電話	89	583	50	21	—	11	1	331	143	22	—	3	—	3	6	64	3	85	48	1,463
文書	1	103	—	1	—	—	—	9	25	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140
計	93	812	52	22	—	13	2	560	293	24	—	3	—	3	7	64	4	202	60	2,214

(7) 地域の健康課題を把握するための地域診断事業

保健衛生統計等各種統計データの収集、整理及び分析を行うことにより、地域の健康課題を総合的に把握するための広域的な地域診断を行いました。

ア 保健情報データベースの更新

人口、人口動態（出生、死亡、婚姻・離婚）、基本健康診査、乳幼児健康診査、国民健康保険疾病統計、介護保険等のデータを更新しました。

## 2 保健・医療・福祉に関する情報提供と普及啓発

### (1) 市町広報紙・地域FM放送等による情報の提供

広報媒体名	登 載 日
県のたより「かながわ情報館」	毎月1日
広報かまくら「保健コーナー」	毎月1日
鎌倉衛生時報	毎月15日（1月8月は1日）
広報ずし	毎月1日
広報はやま	毎月1日
かまくらFM「かまくらじお」	毎月（82.8MHz）
湘南ビーチFM「トークイン葉山」	毎月（78.9MHz）
鎌倉ケーブルコミュニケーションズ（CATV）	毎月
三浦半島だより	6、9、12、3月

### 3 保健・福祉人材の育成

#### (1) 保健衛生研修

##### ア 地域母子保健対策推進研修

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
8月27日	鎌倉保健福祉事務所	健診や訪問で出会う「気になる」子ども&保護者の心を開くアプローチ法	世田谷子どもクリニック 副院長 帆足暁子氏	32

##### イ 保健衛生研修(合同研修)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
6月30日	鎌倉保健福祉事務所	相談業務のスキルアップ ～相談対応を苦慮する人へのコミュニケーションスキル～	ヒーリング&リカバリー インスティテュート 所長 水澤都加佐氏	49

##### ウ 地域保健福祉実務者研修 (感染症予防)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
8月11日	鎌倉保健福祉事務所	感染症予防研修 現場で行うインフルエンザ・ノロウイルス対策 実習「ノロのふき取り演習」 「手洗いチェッカーで手洗い点検」	鎌倉保健福祉事務所職員 地方独立行政法人神奈川県立病院 機構 神奈川県立循環器呼吸器病 センター 感染管理認定看護師 横谷チエミ氏	20

#### (2) 実習生指導

##### ア 合同オリエンテーション

月 日	参加人員
4月11日	46
9月5日	38
計	84

##### イ 保健福祉事務所実習

種 別	施設数	実習生数
看護師 学生	5	55
保健師 学生	5	16
助産師 学生	—	—
社会福祉士 学生	—	—
栄養士 学生	5	11
歯科衛生士 学生	1	2
計	16	84



## 4 保健統計等

### (1) 人口動態調査

対象年月	対 象	内 容
平成26年4月～ 平成27年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）	指定統計として出生、死亡、婚姻、離婚の各届出から移記作成され、住民の健康に関する特性や問題点を把握

### (2) 衛生行政報告例（母体保護に関する統計部分）

対象年月	対 象	内 容
平成26年4月～ 平成27年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）の産婦人科医	母体保護法の規定による不妊手術及び妊娠中絶手術の届出件数

### (3) 国民生活基礎調査

対象年月	対 象	内 容
平成26年6月5日	厚生労働省が無作為抽出した地区内（鎌倉市の一部、逗子市の一部、葉山町の一部）の257世帯	健康、医療、福祉、年金等国民生活の基礎的事項の把握

### (4) 社会保障・人口問題基本調査 世帯動態調査

対象年月	対 象	内 容
平成26年7月1日	国民生活基礎調査の対象地区のうち、厚生労働省が無作為抽出した地区内（鎌倉市の一部、逗子市の一部）の119世帯	世帯変動の実態と要因を明らかにするための基礎的事項の把握

### (5) 国民生活基礎調査(所得票)・所得再分配調査

対象年月	対 象	内 容
平成26年7月10日 (所得再分配調査は 7/10～8/9)	国民生活基礎調査の対象地区のうち、厚生労働省が無作為抽出した地区内（葉山町の一部）の63世帯	社会保障制度及び租税制度による所得再分配の実態を把握

### (6) 医療施設動態調査

対象年月	対 象	内 容
平成26年4月～ 平成27年3月	病院、一般診療所、歯科診療所	医療施設の分布及び整備の実態並びに医療施設の診療機能の把握

### (7) 医療施設静態調査

対象年月	対 象	内 容
平成26年10月1日	平成26年10月1日午前零時現在において開設しているすべての病院、診療所	医療施設の分布及び整備の実態並びに医療施設の診療機能の把握(3年に一度実施)

**(8) 患者調査**

対象年月	対 象	内 容
入院・外来：平成26年10月21日～23日のうち1日 退院：平成26年9月1日～30日	全国の医療施設のうち無作為抽出された病院(管内15カ所)、一般診療所(管内3カ所)及び歯科診療所(管内2カ所)を利用する患者	病院及び診療所を利用する患者について、その疾病の状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料とする。(3年に一度実施)

**(9) 受療行動調査**

対象年月	対 象	内 容
平成26年10月21日～23日のうち医療施設ごとに指定された1日	全国の病院から無作為抽出された病院(管内2カ所)を利用する患者	医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する認識や行動を明らかにし、今後の医療行政の基礎資料とする。(3年に一度実施)

**(10) 医師・歯科医師・薬剤師調査**

対象年月	対 象	内 容
平成26年12月31日	日本国内に住所があつて、医療法第6条第3項により届出た医師、歯科医師法第6条第3項により届出た歯科医師及び薬剤師法第9条により届出た薬剤師	医師、歯科医師及び薬剤師について、性、年齢、業務の種別、従事場所及び診療科目名(薬剤師は除く)等による分布を明らかにし、厚生労働行政のための基礎資料とする。(2年に一度実施)

**(11) 業務従事者届**

対象年月	対 象	内 容
平成26年12月31日	業務に従事している保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士及び歯科技工士	保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士及び歯科技工士について、性、年齢、業務の種別、従事場所等による分布を明らかにし、厚生労働行政のための基礎資料とする。(2年に一度実施)

**(12) 病院報告**

対象年月	対 象	内 容
平成26年4月～平成27年3月	管内(鎌倉市、逗子市、葉山町)の病院16ヶ所及び療養病床を有する診療所1ヶ所	管内の病院、療養病床を有する診療所における患者の利用状況及び病院の従事者の状況を把握

**(13) 地域保健・健康増進事業報告**

対象年月	対 象	内 容
平成26年4月～平成27年3月	管内(鎌倉市、逗子市、葉山町)	保健所及び市町における地域保健・健康増進事業の実施状況の把握

**(14) 福祉行政報告例**

対象年月	対 象	内 容
平成26年4月～平成27年3月	管内(鎌倉市、逗子市、葉山町)	社会福祉行政の実態の把握

※ 備考

各調査結果は厚生労働省の報告書として公表されます。  
公表時期等詳細は、保健福祉事務所までお問い合わせください。

## 5 医務・献血関係

### (1) 医療施設数・人口10万対率（市町別）

平成27年3月31日現在

市町名	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あんま・はり・きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
鎌倉市	13	7.5	165	95.4	128	74.0	11	6.4	287	165.9	48	27.7	21	12.1
逗子市	2	3.5	66	114.3	46	79.7	5	8.7	122	211.4	20	34.7	6	10.4
葉山町	1	3.1	17	52.5	15	46.4	—	—	53	163.8	5	15.5	6	18.5
計	16	6.1	248	94.3	189	71.8	16	6.1	462	175.6	73	27.7	33	12.5

### (2) 医療施設数・人口10万対率年次推移

各年3月31日現在

年次別	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あんま・はり・きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
2005年 (平成17)	18	6.9	244	93.5	174	66.7	6	2.3	325	124.5	37	14.2	40	15.3
2006年 (平成18)	17	6.5	247	94.3	172	65.6	6	2.3	325	124.0	35	13.4	39	14.9
2007年 (平成19)	17	6.5	247	93.8	176	66.8	11	4.7	335	127.2	37	14.1	41	15.6
2008年 (平成20)	17	6.4	250	94.6	181	68.5	12	4.5	351	132.9	44	16.7	42	15.9
2009年 (平成21)	17	6.4	256	96.7	179	67.6	12	4.5	363	137.2	51	19.3	43	16.2
2010年 (平成22)	17	6.4	252	94.9	182	68.5	12	4.5	382	143.8	56	21.1	43	16.2
2011年 (平成23)	16	6.0	250	94.2	182	68.6	13	4.9	413	155.6	58	21.8	37	13.9
2012年 (平成24)	16	6.0	250	94.3	185	69.8	13	4.9	428	161.4	63	23.8	36	13.6
2013年 (平成25)	16	6.1	250	94.6	184	69.6	14	5.3	436	165.5	70	26.5	36	13.6
2014年 (平成26)	16	6.1	262	99.4	185	70.2	16	6.1	447	169.6	70	26.6	35	13.3
2015年 (平成27)	16	6.1	248	94.3	189	71.8	16	6.1	462	175.6	73	27.7	33	12.5

(3) 病床数・人口10万対率（市町別）

平成27年3月31日現在

市町名 施設名	病 院											一般診療所		計		
	一 般		療 養		精 神		結 核		感 染 症		小 計		数	率	数	率
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
管内総計	1,542	586.1	662	251.6	90	34.2	0	0	0	0	2,294	871.9	102	38.8	2,396	910.7
鎌倉市	1,417	819.0	565	326.6	90	52.0	0	0	0	0	2,072	1197.6	59	34.1	2,131	1,231.7
鎌倉リハビリテーション 聖テレジア病院	—		128		—		—		—		128					
鎌倉ヒロ病院	49		30		—		—		—		79					
鎌倉病院	30		55		—		—		—		85					
恵風園胃腸病院	—		51		—		—		—		51					
鈴木病院	54		71		—		—		—		125					
清川病院	89		109		—		—		—		198					
大船中央病院	292		—		—		—		—		292					
額田記念病院	—		58		—		—		—		58					
ふれあい鎌倉 ホスピタル	112		—		—		—		—		112					
メンタルホスピタル かまくら山	—		—		90		—		—		90					
小さき花の園	72		—		—		—		—		72					
湘南記念病院	100		63		—		—		—		163					
湘南鎌倉総合病院	619		—		—		—		—		619					
逗子市	36	62.4	97	168.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	133	230.4	43	74.5	176	304.9
逗子病院	36		—		—		—		—		36					
青木病院	—		97		—		—		—		97					
葉山町	89	275.0	—	0.0	—	0.0	0	0.0	0	0.0	89	275.0	0	0.0	89	275.0
葉山ハートセンター	89		—		—		—		—		89					

(注) 2009年1月に、佐藤病院はふれあい鎌倉ホスピタルに名称が変更されました。  
 2013年8月に、林間病院はメンタルホスピタルかまくら山に名称が変更されました。  
 2015年8月に、聖テレジア病院は鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院に名称が変更されました。

(4) 病床数・人口10万対率年次推移

各年3月31日現在

年次別	病 院											一般診療所		総 数		
	一 般		療 養		精 神		結 核		感 染 症		小 計		数	率	数	率
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
2000年 (平成12)	1,882	736.3			124	48.5	54	21	—	—	2,060	805.9	257	100.5	2,317	906.5
2005年 (平成17)	1,417	543.0	621	238.0	124	47.5	24	9	—	—	2,186	837.7	212	81.2	2,398	919.0
2010年 (平成22)	1,423	535.8	716	269.6	90	34.2	—	—	—	—	2,229	839.3	111	41.8	2,340	881.1
2011年 (平成23)	1,423	536.0	677	255.0	90	33.9	—	—	—	—	2,190	824.9	99	37.3	2,289	862.2
2012年 (平成24)	1,478	557.4	677	255.3	90	33.9	—	—	—	—	2,245	846.7	99	37.3	2,344	884.0
2013年 (平成25)	1,477	557.1	662	249.7	90	33.9	—	—	—	—	2,229	840.7	99	37.3	2,328	878.0
2014年 (平成26)	1,497	569.0	662	251.6	90	34.2	—	—	—	—	2,249	853.5	102	38.7	2,351	892.2
2015年 (平成27)	1,542	586.1	662	251.6	90	34.2	—	—	—	—	2,294	871.9	102	38.8	2,396	910.7

(注) 1999年4月に、管内にあった感染症病床は廃止されました。  
 (注) 2003年までは、療養病床は一般病床に含まれています。  
 (注) 2006年10月に、管内にあった結核病床は廃止されました。

(5) 医務関係許可等取扱い件数

	許可申請			届 出			エックス線装置			計
	開設	変更	構造設備使用	開設	変更	休止廃止再開	設置	廃止	変更	
病 院	—	20	10	—	9	—	3	2	7	51
一 般 診 療 所	11	10	—	28	39	34	15	15	2	154
歯 科 診 療 所	4	1	—	12	11	8	30	21	6	93
助 産 所	—	—	—	1	—	2				3
あんま・はり・きゅう				31	21	14				66
柔 道 整 復				7	8	4				19
歯 科 技 工 所				—	—	—				0
計	15	31	10	79	88	62	48	38	15	386

(6) 立入検査

医療施設の適切な運営を確保するため、医療法第25条の規定に基づき、医療従事者の適正配置、構造設備、防災対策等について立入検査を実施しました。

なお、組織改編により今年度から三崎センター所管域の医療機関も当所で検査しています。

- ・実施期間 平成26年9月～平成27年3月
- ・実施施設数

	鎌倉市	逗子市	葉山町	三浦市	計
病 院	13	2	1	2	18
有 床 診 療 所	2	1	—	—	3
人工透析診療所	1	—	—	1	2
特定眼科診療所	—	—	—	—	0
計	16	3	1	3	23

(参考) 神奈川県立入検査要綱に基づく対象施設及び実施時期

- ①病院 : 病床を20床以上有する医療施設 毎年
- ②有床診療所 : 19床以下の病床を有する医療施設 3年に1回以上
- ③人工透析診療所 : 人工透析設備を有する医療施設 3年に1回以上
- ④特定眼科診療所 : 要綱に定める要件を満たす医療施設 5年に1回以上

(7) 医療従事者数・人口10万対率(市町別)

2012(平成24)年12月末現在

市町名	医 師		歯科医師		薬剤師		保健師		助産師		看護師		准看護師	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
鎌倉市	511	293.4	149	85.6	605	347.4	53	30.4	54	31.0	1,363	782.6	261	149.9
逗子市	78	134.5	59	101.8	102	175.9	18	31.0	12	20.7	174	300.1	61	105.2
葉山町	34	103.6	13	39.6	22	67.0	10	30.5	0	0.0	145	441.9	13	39.6
計	623	235.1	221	83.4	729	275.1	81	30.6	66	24.9	1682	634.8	335	126.4

市町名	歯科衛生士		歯科技工士	
	数	率	数	率
鎌倉市	...	...	...	...
逗子市	...	...	...	...
葉山町	...	...	...	...
計	192	72.5	30	11.3

## (8) 献血数・目標数(市町別)

(単位:人)

市町名	200ml		400ml		計	
	目標数	献血数	目標数	献血数	目標数	献血数
鎌倉市	75	76	1,404	675	1,479	751
逗子市	19	21	283	164	302	185
葉山町	7	7	200	117	207	124
計	101	104	1,887	956	1,988	1,060

## (9) 年次別献血数・目標数

(単位:人)

年次別	200ml		400ml		成分		計	
	目標数	献血数	目標数	献血数	目標数	献血数	目標数	献血数
1995年度 (平成7)	2,950	2,283	2,960	2,526	80	52	5,990	4,861
2000年度 (平成12)	660	574	2,632	1,558	—	10	3,292	2,142
2005年度 (平成17)	103	222	2,379	1,432	59	6	2,541	1,660
2006年度 (平成18)	123	210	2,310	1,679	—	—	2,433	1,889
2007年度 (平成19)	123	155	2,251	1,645	—	—	2,374	1,800
2008年度 (平成20)	92	93	2,586	1,576	—	—	2,678	1,669
2009年度 (平成21)	90	103	2,460	1,564	—	—	2,550	1,667
2010年度 (平成22)	80	78	2,352	1,325	—	—	2,432	1,403
2011年度 (平成23)	111	74	1,690	1,576	—	—	1,801	1,650
2012年度 (平成24)	62	101	1,985	1,223	—	—	2,047	1,324
2013年度 (平成25)	66	108	2,153	1,005	—	—	2,219	1,113
2014年度 (平成26)	101	104	1,887	956	—	—	1,988	1,060

## 6 たばこ対策

### (1) 受動喫煙防止条例の施行に係る普及啓発等（横須賀市内を含む）

#### ア 一般県民向け普及啓発の実施

駅前等でのチラシ配布、イベント参加等により、一般県民向け普及啓発活動を実施しました。

#### イ 事業者向け説明会の開催

各種講習会での資料の配布を実施しました。

- ・食品衛生責任者講習会

#### ウ 事業者向け戸別訪問の実施

新規の飲食店や条例未対応店、理美容店を中心に戸別訪問等を行い、条例の実施状況を確認しました。

訪問等件数	850件
-------	------

※電話等による確認、再訪問件数を含みます。

#### エ その他

管内の条例協力店に係るホームページを作成し、条例協力店制度の普及に努めました。

### (2) 地域禁煙サポート推進事業

喫煙防止対策を推進するため、禁煙相談、禁煙・防煙に関する普及啓発を行いました。

#### ア 禁煙・防煙講演会

対象	回数	参加人員
中学校	3	462
高等学校	7	1,735

#### イ 禁煙相談（延べ）

随時相談	電話相談等
—	2

※禁煙相談は保健予防課で担当しています。

## 第4章 保健福祉課



# 保 健 福 祉 課 業 務

専門的なサービスの提供や医療・福祉の援護を行い、保健福祉サービスの向上と円滑な推進に努めました。

## 1 母子保健

思春期の心身の成長と生涯を通じた女性の健康増進を図るため、思春期保健事業及び生涯を通じた女性の保健相談等事業を実施し、不妊に悩む方への特定治療支援事業の助成を行いました。

また、小児慢性特定疾病児等を対象とした小児医療援護、養育支援事業を実施するとともに、地域における母子保健福祉サービスが円滑に提供されるよう母子保健委員会を開催し、地域の体制づくりを行いました。

## 2 健康増進、がん対策

がん検診受診率向上のため、管内市町や職域と協働して、地域のニーズや実態に応じた「がん検診普及啓発セミナー」を実施しました。また、市町の健康増進事業及び特定健診・特定保健指導の円滑な推進を図るため、市町との会議を実施しました。

## 3 栄養・食生活対策

地域食生活対策推進協議会を開催し、地域における長期療養者等への一元的な栄養管理を進めるため、食生活支援体制づくりについて協議しました。

また、健康増進法に基づき特定給食施設に対する個別及び集団指導の実施や、栄養表示の推進に向け、普及啓発講習会や相談、栄養表示状況調査を実施しました。さらに、専門的栄養相談や栄養・食生活支援担当者研修を実施しました。

## 4 歯科保健

「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」に基づき、関連する事業の効果的かつ円滑な推進を図るため、歯及び口腔の健康づくり推進委員会を開催し、管内関係機関等と情報を共有しました。

また、むし歯や歯周疾患の予防として、重度むし歯のリスク要因を有する幼児に対する重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業、障害児及び日中支援事業所を利用している障害者を対象にした障害児者等歯科保健事業、妊婦を主な対象とした歯周疾患予防対策事業を行うとともに、歯の健康づくり事業として歯間清掃用具の実技指導を行いました。

8020 運動推進員養成研修修了者を対象に、歯及び口腔の健康づくり活動を円滑に展開できるよう、育成研修を開催しました。

## 5 地域福祉

地域包括ケアシステムの推進に向け、管内の地域包括支援センターが抱える課題を共有し検討するため担当者会議を開催しました。

また、地域の福祉的課題に対応するため、民生委員・児童委員への負担金の交付、障害福祉相談員への研修、地域福祉コーディネーター事業、成年後見制度普及啓発事業、バリアフリーのまちづくり

普及啓発事業及び横須賀・三浦障害保健福祉圏域相談支援等ネットワーク形成事業など、地域福祉の推進に向けた取り組みを行いました。

## 6 介護保険

介護保険指定事業者等に対する集団指導講習会、実地指導及び介護保険に関する相談対応等を行いました。

## 7 生活福祉

葉山町を所管する福祉事務所として、生活保護法・児童福祉法・母子及び父子並びに寡婦福祉法に定められている援護等を行いました。

また、「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」に基づき、特別障害者手当等の支給事務を行いました。

# 1 母子保健

## (1) 思春期保健事業

思春期に特有の医学的問題、性に関する不安や悩みへの相談や教諭向けの研修会を開催しました。

### ア 個別相談

区分	相談方法			相談者(延べ数)				相談内容(延べ数)										事後指導(延べ数)							
	電話	面接	計	本人	父母	その他	計	身体	性	妊娠	結婚	病	友人	家族	学	その他	計	助言指導	面接継続	電話継続	訪問継続	他機関紹介	受診勧奨	その他	計
男	66	—	66	61	5	—	66	—	56	—	—	2	2	1	1	4	66	62	1	—	1	1	1	—	66
女	7	—	7	—	7	—	7	2	1	—	—	1	—	2	—	1	7	5	—	1	—	—	1	—	7
計	73	0	73	61	12	0	73	2	57	0	0	3	2	3	1	5	73	67	1	1	1	1	2	0	73

### イ 思春期保健連絡会

管内の各高等学校へヒアリングを実施し、思春期保健における課題の把握に努めました。  
その結果を元に思春期保健連絡会を開催、行政関係者や養護教諭と課題の検討に取り組みました。

月日	場所	内容	参加人員
2月27日	鎌倉保健福祉事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>講習会「生きるための心を育てる教育(性教育)～思春期問題予防のために～」 講師 東京医療保健大学医療保健学部看護学科 准教授 渡曾睦子氏</li> <li>情報交換と質疑応答</li> </ul>	16

## (2) 生涯を通じた女性の保健相談等事業

### ア 一般相談・専門相談

思春期から更年期に至る女性が、心身ともに健康な生活を送れるように、一般相談や専門相談を行いました。

区分	相談方法			相談者(延べ数)				相談内容(延べ数)										事後指導(延べ数)							
	電話	面接	その他	本人	その他	計	妊娠	避妊	不妊	性	メンタルケア	婦人科	更年期	性感	その他	計	助言指導	専門相談	電話継続	訪問継続	他機関紹介	医療機関	その他	計	
一般相談(随時)	86	143	0	229	213	16	229	4	—	155	—	26	14	8	—	22	229	162	53	4	—	2	2	6	229
専門相談(13回開設)	—	32	—	32	32	—	32	1	—	9	0	10	7	—	—	5	32	17	4	3	1	4	2	1	32

イ 妊娠・不妊に関する正しい知識の普及啓発

月 日	場 所	対 象	内 容	参加人員
11月15日 11月16日	鎌倉女子大学 大船キャンパス	鎌倉女子大学 学園祭来場者	パネル展示、リーフレットの配布、アン ケートの実施	178
12月1日	鎌倉女子大学 大船キャンパス	短大1年生	パワーポイントを用いた健康教育	300
12月15日	鎌倉女子大学 大船キャンパス	短大2年生	パワーポイントを用いた健康教育	300
12月11日	鎌倉早見美容専 門学校	学生	パワーポイントを用いた健康教育	29
12月17日	逗子高等学校	高校3年生	パワーポイントを用いた健康教育	210
2月5日	清泉女学院	高校2年生	パワーポイントを用いた健康教育	167
随時	鎌倉保健 福祉事務所	当所実習生	パワーポイントを用いた健康教育	14

(3) 不妊に悩む方への特定治療支援事業

医療保険が適用されず高額の治療費がかかる特定不妊治療を受けた夫婦に対する治療費の助成について申請を受け付けました。

市町名	申請件数	計
鎌倉市	293 (173)	387 (235)
逗子市	72 (48)	
葉山町	22 (14)	

( )内は申請実人数

(4) 小児医療援護

各種小児医療援護制度に基づき、疾病に罹患している子供が早期に適切な治療を受けられるよう医療費の給付事務を行いました。

なお、育成医療給付と未熟児養育医療給付の事務は、2013(平成25)年度に市町村に移譲しました。

ア 小児慢性特定疾病医療費助成(事業開始1974(昭和49)年度、2005(平成17)年度 制度改正 2014(平成26)年度 制度改正)

疾病 市町名	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子変化を伴う症候群	皮膚疾患	計(人)
鎌倉市	21	12	2	9	39	—	10	3	2	2	5	2	—	2	109
逗子市	8	3	1	8	15	1	9	2	2	1	3	2	—	—	55
葉山町	3	5	1	3	6	—	2	1	1	—	—	—	—	—	22
計	32	20	4	20	60	1	21	6	5	3	8	4	0	2	186

イ 育成医療給付(事業開始1954(昭和29)年度)

疾病 市町名	肢体不自由	視覚障害	機能障害	聴能障害	音能障害	音声言語障害	心臓機能障害	腎臓機能障害	小腸機能障害	肝臓機能障害	その他内臓機能障害	免疫機能障害	計(人)
鎌倉市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
逗子市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
葉山町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ 未熟児養育医療給付(事業開始1958(昭和33)年度)

体重別 市町名	1000g以下	1001g～1500g	1501g～1800g	1801g～2000g	2001g～2300g	2301g～2500g	2501g以上	計(人)
鎌倉市	—	—	—	—	—	—	—	0
逗子市	—	—	—	—	—	—	—	0
葉山町	—	—	—	—	—	—	—	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 養育支援事業

疾病等により、長期にわたり療養を必要とする児童に対し、適切な養育を確保し日常生活における健康の保持増進を図るため相談や教室を行いました。

ア 訪問指導

	小児慢性疾患	その他	計
実人数	9	5	14
延べ人数	27	8	35

イ 所内指導(電話・面接・文書等)

	小児慢性疾患	その他	計
実人数	144	24	168
延べ人数	307	37	344

ウ 集団指導

(ア) ダウン症児の親子の会 (さくらんぼの会)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
6月27日	鎌倉保健福祉事務所	・「おうちで出来る！親子で楽しくふれあいあそび♪」 ・保護者同士の情報交換・交流会	逗子市療育相談室 保育士 植木景子氏 相談員 久保木秀美氏	13
7月25日	鎌倉保健福祉事務所	・「先輩ママに聞いてみよう！就園・就学のはなし」 ・保護者同士の情報交換・交流会	ダウン症児の先輩保護者2名	22
9月26日	鎌倉保健福祉事務所	・「ゆったり子育てしませんか？お子さんの成長のおはなし」 ・保護者同士の情報交換・交流会	虹の子作業所 所長 中川千恵子氏	19
11月17日	鎌倉保健福祉事務所	・「作業療法士と一緒に♪おうちで出来る遊びの工夫」 ・保護者同士の情報交換・交流会	総合療育相談センター 作業療法士 有澤歩美氏	22
2月23日	鎌倉保健福祉事務所	食べる機能の講習会	昭和大学歯学部 教授 弘中祥司氏	26
3月17日	鎌倉保健福祉事務所	・「音楽に合わせて楽しもう！」 ・保護者同士の情報交換・交流会	音楽療法士 藤本静江氏 井手絵里子氏	11

(イ) 小児慢性特定疾病児教室

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
1月21日	鎌倉保健福祉事務所	講演「子どものてんかん～最新治療と発達について～」	田中神経クリニック 院長 田中正樹氏	42
1月30日	鎌倉保健福祉事務所	講演「慢性疾患をもつ子どもと家族へ～病気とのつきあい方と家族の役割～」	神奈川県立こども医療センター 小児看護専門看護師 小柴梨恵氏	15

(6) 保健福祉サービス連携調整会議（母子保健委員会）

妊娠期からの支援が必要なケースの早期発見、早期対応に向けて、管内産科医療機関と行政機関の課題を共有し、連携体制整備に向けた協議を進めています。特に今年度より、精神疾患・障害（疑いを含む）を抱える母への支援のあり方を検討するため、精神保健福祉医療関係者を含め検討しました。

月 日	内 容	出席人員
10月28日	第1回部会（実務担当者会議） 妊娠期からの虐待予防～精神疾患・障害（疑いを含む）のある母への支援のあり方	4
1月14日	第2回部会（実務担当者会議） 妊娠期からの虐待予防～精神疾患・障害（疑いを含む）のある母への支援のあり方	9
3月11日	母子保健委員会 1. 母子保健事業の現状について 管内母子保健統計と各市町の母子保健事業 2. 妊娠期からの虐待予防～精神疾患・障害（疑いを含む）のある母への支援のあり方	12

(7) 病院との継続看護

退院後も経過を見る必要のある児について、病院から連絡を受け、訪問指導等を行いました。

小児の継続訪問依頼

把握連絡票	病院 市町名	横須賀共済病院	湘南鎌倉総合病院	こども医療センター 県立	その他の病院※	計	
療育指導 連絡票	鎌倉市	1	—	—	5	6	※「その他の病院」 ・西鎌倉こどもクリニック ・国立成育医療研究センター ・北里大学病院 ・順天堂大学医学部付属浦安病院 ・東海大学医学部付属病院
	逗子市	3	1	—	—	4	
	葉山町	2	—	1	—	3	
	計	6	1	1	5	13	

(8) 母子保健事業連絡会

市町と連携し、母子保健事業を円滑に推進するため、定期連絡・情報交換を行いました。

管内母子保健事業連絡会

月 日	場 所	内 容	出席人員
6月23日	鎌倉保健福祉事務所	・平成25年度母子保健事業実施状況 ・平成26年度の取り組み ・周産期からの医療機関との連携について	7

## 2 成人・高齢者保健

### (1) がん検診普及啓発セミナー

地域の実情に合わせたがん検診受診率の向上を目指すため、管内市町や民間企業等と協働して、地域のニーズや実情に応じた「がん検診普及啓発セミナー」を実施しました。

月 日	内 容	場 所	参加人員
9月7日	健康フェスティバル（逗子市・葉山町・逗葉医師会主催） ・がん等のパンフレットの配布 ・乳がん触診モデルによるしこり体験	逗子市役所	90 (来場者数)
11月15日 11月16日	鎌倉女子大学「みどり祭」に出展（鎌倉市と出展） ・がん検診受診促進パネル展示 ・乳がん触診モデルによるしこり体験 ・がん等の普及啓発資材の配布 ・アンケート実施とアフラックのダックノベルティの提供	鎌倉女子大学 大船キャンパス	178 (来場者数)
1月15日	経営者セミナー（藤沢労働基準監督署主催） ・がん体験者による講演会「もしも経営者のあなた自身や部下の方が、がんになったら」 ・がん等の普及啓発資材の配布	藤沢商工会議所	140

### (2) 地域企業におけるがん検診受診促進事業

「神奈川県がん対策推進計画」を踏まえ、「がん検診受診率を胃がん、大腸がん、肺がんは40%以上、乳がん、子宮がんは50%以上」を目指して、がん検診受診普及啓発に関する講話やリーフレット配布等にて、地域の企業、事業所等におけるがん検診の受診促進を図り、効果的な受診率の向上に努めました。

月 日	内 容	場 所	参加事業所
11月6日	葉山町商工会女性部に対し、健康講座で乳がんについて当所職員による講話及びリーフレット配布	葉山町福祉文化会館	12
11月27日	鎌倉市商工会議所青年部に対し、健康講座でがん検診について当所職員による口頭説明及びリーフレット配布	鎌倉商工会議所	6
1月15日	藤沢労働基準監督署主催の経営者セミナーでがん体験者の講演会開催に併せて、参加事業所等に対し、リーフレット配布	藤沢商工会議所	140
通年	当所実施の食品衛生責任者講習会等で参加企業へ口頭説明及びリーフレット配布	鎌倉保健福祉事務所 等	1050
通年	三浦半島地域産業保健センターに依頼し、巡回対象の企業にリーフレット配布	対象企業先	132



### (3) 健康増進評価事業

管内市町の健康増進事業について合同で情報提供、情報共有を図るためヒアリングを行い、地域の課題把握に努めました。

日 時	内 容	場 所	出席者数
8月5日	健康増進事業の事業評価におけるヒアリング	鎌倉保健福祉事務所	鎌倉市、逗子市、葉山町職員 6名

### (4) 救急法普及啓発事業

介護保険指定事業所職員等を対象に、応急手当や緊急時の判断、災害時の備え等について実技を交えた講演会を開催しました。

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
11月10日	鎌倉保健福祉事務所	「介護現場で起こりやすい事故、異常時の応急手当」	国際救急法研究所 理事長 宇田川規夫氏	22

### 3 栄養・食生活対策

#### (1) 保健福祉サービス連携調整会議（地域食生活対策推進協議会）

地域における長期療養者等の一元的な栄養管理を進めるため、食生活支援体制づくりについて協議しました。

月 日	内 容	出席人員
11月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院・地域における栄養サマリーの活用状況について</li> <li>・地域における食生活支援情報の効果的な伝達について</li> </ul>	7

#### (2) 広域的・専門的栄養改善活動

食生活や生活習慣に起因することが大きい慢性疾患や、長期療養を必要とする個別性の高い疾患が増加していますが、それらの疾患の重症化を予防し、生活の質の向上をめざした食事療法を実践するための教室や個別相談を行いました。

##### ア 疾病予防食生活対策事業

##### <各種疾病別栄養指導教室>

区 分	コース数	延べ回数	延べ人員 (個別指導を含む)
難 病 教 室	1	1	7
ダ ウ ン 症 児 教 室	1	1	11
計	2	2	18

##### <専門栄養相談>

疾 病 別	実 人 員	延 べ 人 員	(再掲)訪問	備 考
脂 質 異 常 症 ・ 肥 満 合 併 症	1	3	—	
ハ イ リ ス ク 児	3	3	1	食物アレルギー等
難 病	1	1	—	
そ の 他	16	23	—	高齢者の低栄養等
計	21	30	1	

イ 栄養・食生活対策推進事業

(ア) 栄養・食生活支援担当者研修

研修会区分	対 象	月 日	内 容	参加人員
知的障害者施設 栄養士研修会	社会福祉施設 栄養士	9月8日	「生きる力を支える食の支援～教育から福祉へ」 講師 武山養護学校栄養教諭 服部和美氏	6
食生活支援担当者 研修会	養護学校 病院 介護老人保健施設 老人福祉施設 社会福祉施設 有料老人ホーム の管理栄養士・ 栄養士	10月16日	講話「高めよう！お口の機能～安全でおいしい食事を届けるために」 講師 鎌倉保健福祉事務所 保健福祉課歯科医師 歯科衛生士 情報交換「栄養サマリーの活用の現状と今年度の取組み～近隣の栄養士さんともっと知り合いましょう～」	26
		12月10日	講話「嚥下調整食の物性測定と学会分類について」 ヘルシーフード株式会社開発部次長 上席研究員 西田稔氏	24
地域保健活動 推進研修	小学校、児童福祉施設 行政職員等	2月25日	講演「給食施設における食物アレルギー対応～保育所、小学校等で安全に給食を提供するために～」 講師 国立病院機構相模原病院臨床研究センターアレルギー性疾患研究部 管理栄養士 林典子氏	28

(イ) 連絡会

区 分	対 象	内 容	回数	参加人数
知的障害者施設 栄養士連絡会	社会福祉施設 栄養士	知的障害者に向けた効果的な食育について	4	16

ウ 栄養表示適正化推進事業

区 分	集団指導		個別指導
	回 数	人 数	相談件数
食品業者等	—	—	8
消 費 者	1	45	—
給 食 施 設	—	—	—

栄養表示状況等調査 0食品 ※事前調査食品142食品のうち栄養表示等不適正食品0食品

(3) 特定給食等指導

健康増進法に基づき、給食施設に対して栄養管理の実施について、必要な指導、助言を行うとともに、利用者や職員などの健康に関する知識の普及や健康・栄養教育等の支援を行い、給食を通じた地域の健康づくりを推進しました。

<特定給食施設等講習会・種別講習会>

種別区分	月 日	内 容	参加施設数	参加人員
全体講習会	6月25日	講演Ⅰ「食中毒予防について」 講師 当所食品衛生課職員 講演Ⅱ「給食施設のためのカラフルフード ～作り手から食べる人に、色を通して伝えるメッ セージ～」 講師(有)カラーパワーズデザイン 成瀬紀子氏	107	154
種別講習会 (事業所)	10月7日	テーマ「食べる人の健康と嗜好に配慮したメ ニューを考える」 (1) 情報提供 (2) 意見交換	4	4
種別講習会 (保育所)	1月15日	テーマ「気になる!?隣の保育所給食」 (1) 情報提供「地域の保育所給食における栄養 管理実施状況等について～給食施設栄養管理報告 書より～」 (2) グループワーク	11	12

<給食施設個別指導> [対象施設状況一覧]

種別区分	特 定 給 食 施 設						その他の給食施設			対象施設数
	1回100食以上 又は 1日250食以上			1回300食以上 又は 1日750食以上			1回50食以上100食未満 又は 1日100食以上250食未満			
	管理栄養士配置	栄養士配置	未配置	管理栄養士配置	栄養士配置	未配置	管理栄養士配置	栄養士配置	未配置	
学 校	3	—	2	16	9	—	1	—	1	32
病 院	7	—	—	2	—	—	7	—	—	16
老人保健施設	5	—	—	—	—	—	3	—	—	8
老人福祉施設	10	—	—	—	—	—	4	3	1	18
児童福祉施設	7	10	4	—	—	—	1	5	4	31
社会福祉施設	—	—	—	—	—	—	2	1	4	7
事 業 所	—	2	—	3	—	—	—	1	7	13
寄 宿 舎	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
そ の 他	2	2	—	—	—	—	1	2	7	14
計	34	14	6	21	9	0	19	12	25	140

#### (4) 行政栄養士との連携・連絡調整

市町の行政栄養士の相互理解と栄養活動の現状や業務の連携について情報交換をしました。

<行政栄養士連絡会>

月 日	内 容
5月7日	・食品成分表を活用した食事デザインと食事評価について
7月16日	・地域食育事業について
9月3日	・調理実習における衛生管理について
11月26日	・住民に対する栄養サービスの周知について
1月7日	・健康情報の整理と適切な栄養指導について
3月19日	・保健行政栄養士業務連絡会評価と計画について

#### (5) 人材育成

地域における食生活改善活動の推進を図るため、人材育成及び活動支援を実施しました。

ア 管理栄養士課程実習生指導

区分	コース	人数	期間
県立保健福祉大学	1	3	5月20日～5月24日
鎌倉女子大学	1	4	6月3日～6月7日
文教大学	1	4	9月2日～9月6日
相模女子大学	1	3	1月27日～1月31日
関東学院大学	1	4	2月10日～2月14日
計	5	18	

イ 地区組織等の育成

<食生活改善推進団体指導>

指導回数	延べ人員
15	222

#### (6) 国民健康・栄養調査

国民の健康や栄養状態を調査し、健康づくりや生活習慣病対策の基礎資料とするため、実施しました。

地区	調査内容	実施世帯
逗子市	栄養摂取状況調査 身体状況調査 生活習慣調査	8世帯13人

## 4 歯科保健

### (1) 保健福祉サービス連携調整会議（歯及び口腔の健康づくり推進委員会）

神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例に基づき、管内における歯及び口腔の健康づくりに関する事業の効果的かつ円滑な推進を図ることを目的に開催しました。

月 日	内 容	出席者数
1月29日	1 歯科保健事業の現状と課題 2 今後の歯科保健事業の推進について 3 その他 ・ 災害時歯科保健対策について ・ 事務連絡	13

### (2) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町の乳幼児教室や歯科健診と連携し、重度むし歯のリスク要因を有する幼児を早期に把握し、継続的な歯科検診、保健指導、フッ化物塗布等を実施しました。

実施回数	受診者数			予 防 処 置 件 数			初診者の把握経路				
	初 診	再 診	計	フッ化物	フッ化ジ アミン銀	計	教室	1.6歳児	2歳児	その他	計
45	115	151	266	217	13	230	21	66	26	2	115

### (3) 障害児者等歯科保健事業

心身に障害をもつ乳幼児を対象に歯科検診・摂食嚥下指導等を、障害者施設及び事業所の利用者を対象に歯みがき指導等を行いました。

#### ア 乳幼児

市 町 名	実施回数	受診者数			予防処置件数	摂食嚥下指導 件数
		初診	再診	計		
鎌倉市	11	9	10	19	12	2
逗子市	12	10	15	25	21	3
葉山町	4	—	4	4	3	—
計	27	19	29	48	36	5

#### イ 成人

実施回数	参加者数
12	72

#### ウ 摂食機能発達支援

摂食機能発達支援のため、「食べる機能の講習会」をダウン症児の親子の会と共催実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加者数
2月23日	ダウン症の子どもの 摂食嚥下機能発達の特徴	昭和大学歯学部スペシャルニーズ 口腔医学講座口腔衛生学部門 教授 弘中祥司氏	ダウン症児の保護者11名 (ダウン症児9名) 聴講者6名

(4) 歯周疾患予防対策事業

成人の歯周疾患予防対策の一環として、主に妊婦を対象に歯と歯ぐきの検診及び歯周疾患予防の歯みがき実習を行いました。

実施場所	実施回数	受診者数
鎌倉保健福祉事務所	12	28
逗子市保健センター	6	24
葉山町保健センター	6	12
計	24	64

(5) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

在宅療養者等のQOL(生活の質)の向上をめざし、訪問による検診、摂食嚥下指導等を行いました。

ア 訪問者数

実人員	延 べ 人 員					計
	6歳以下	7～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	
2	3	—	—	—	—	3

イ 市町別訪問者数(実人員)

区 分	慢性疾患児	その他	計
鎌倉市	1	—	1
逗子市	1	—	1
葉山町	—	—	0
計	2	0	2

(6) 歯科健康教育 \* (3) ウ 摂食機能発達支援分を含む

実施回数	参加者数	内容件数(複数計上)				
		う蝕予防	歯周疾患 予防	口腔機能 発達支援	高齢者・療養 者口腔ケア	その他
5	128	1	1	2	3	—

(7) 人材の育成(歯科保健に関する研修・講習会)

実施回数	受講者数	受 講 者 内 訳 数				
		地域の専門職		市町村職員	県職員	
		保健師	栄養士	歯科衛生士	歯科医師	歯科衛生士
6	78	25	26	24	1	2

(8) 歯の健康づくり事業

歯間清掃用具の正しい使用方法等についての実技指導を行いました。

実施回数	参加者数
45	302

(9) 8020運動推進員養成事業

健口体操（お口の体操）等の普及啓発活動等、歯及び口腔の健康づくりを自主的に実施するボランティア(8020運動推進員)の育成を行いました。

ア 8020運動推進員数【健康増進課主催の養成研修修了者】

鎌倉市	逗子市	葉山町	管内計
9 (49)	28 (71)	6 (10)	43 (130)

( ) 内は累計数(H23～H26年度)

イ 8020運動推進員育成研修

月日	内 容	受講者数
9月26日	1 あなたのお口の健口度チェック 2 普及手帳の配布 3 スキルアップ 健口体操 4 育成研修修了証授与  *対象：平成23～25年度養成研修修了者	推進員18名 聴講者 4名
11月17日	◎基礎編 1 歯及び口腔の健康づくり推進条例について 2 8020運動推進員の役割 3 健口体操普及手帳の活用 4 各種健口体操をマスターしよう 5 8020運動推進員養成研修修了証授与	推進員 9名 聴講者 3名
11月25日	*受講日選択制（2日間同じ内容）	推進員16名
12月2日	◎実践編1 1 各種健口体操の復習 2 健口体操を実演しよう 3 人前で実演するためのコツをつかむ	推進員19名 聴講者 1名
12月8日	*受講日選択制（2日間同じ内容）	推進員 9名 聴講者 1名
3月5日	◎実践編2 1 各種健口体操の復習 2 ミニ健康講座 3 レベルアップ！健口体操	推進員13名
3月11日	*受講日選択制（2日間同じ内容）	推進員11名
3月20日	◎スキルアップ研修 1 健口体操スキルアップ 2 8020運動推進員活動報告 3 健口手帳の使い方  *対象：育成研修修了者	推進員32名 聴講者 6名

(10) その他

学生指導人数	電話相談件数
23	9



## 5 地域福祉

### (1) 民生委員・児童委員の活動

地域における福祉活動の中心的役割を担っている民生委員・児童委員の活動に対して、負担金を交付しました。

区分 市町名	定 数			相談件数	活動日数	訪問回数
	民生委員 児童委員	主任児童 委員	計			
鎌倉市	204	20	224	6,367	32,836	30,907
逗子市	74	6	80	1,780	11,794	18,253
三浦市	83	7	90	2,699	12,399	14,508
葉山町	49	3	52	1,270	7,555	6,718
計	410	36	446	12,116	64,584	70,386

### (2) 障害福祉相談員の研修

地域における障害福祉ニーズに対応するため、研修会を実施しました。

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
11月20日	鎌倉市役所	高次脳機能障害の理解と相談員活動	NPO法人 脳外傷友の会・ ナナ理事長 大塚由美子氏	5

### (3) 地域福祉の人材育成

#### ア 地域福祉コーディネーター事業

地域包括ケアシステムの構築のため、各市町行政職員、地域包括支援センター職員に対して、地域ケア会議に関する研修を実施しました。

月 日	場 所	内 容	講師	参加人員
12月17日	鎌倉保健福祉事務所	地域ケア会議の現状と課題についての情報交換、「地域包括ケアシステムとは何か～地域ケア会議を通して地域包括ケアシステムを考える～」と題しての講演会およびグループワークを開催	立川市南部西ふじみ地域 包括支援センター  所長 山本繁樹氏	23

#### イ 圏域内地域福祉担当者会議

地域福祉の推進のため、各市町行政職員、市町社会福祉協議会職員等による担当者会議を開催しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
5月30日	鎌倉保健福祉事務所	各機関の地域福祉の取り組みの情報交換等	18

#### (4) 成年後見制度普及啓発事業

福祉関係者に対して、成年後見制度の理解を深めるため、事例を通じた研修会を実施しました。また、市町成年後見制度担当者・社会福祉協議会担当者等による意見交換会を実施しました。

月 日	場 所	内 容		参加人員
6月11日	鎌倉保健福祉事務所	成年後見制度地域研修会（横須賀・三浦圏域）	講師 横浜弁護士会 弁護士 望月由佳子氏	8
11月19日	鎌倉保健福祉事務所	成年後見制度に関する意見交換会（横須賀・三浦圏域）	出席 県地域保健福祉課 管内市町 社会福祉協議会等	11

#### (5) バリアフリーのまちづくり普及啓発事業

##### ア 普及啓発

葉山ふくしまつり、三浦臨海高校文化祭及びみうら市民まつりに参加し、「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」の普及啓発を行いました。

月 日	場 所	内 容	配布部数
10月5日	葉山町福祉会館	「誰にもやさしく快適なまちづくり～心のバリアを取り除こう～」リーフレット 配布	50
10月18日	三浦臨海高等学校	色覚障害者擬似体験 体験者数 91名	
11月16日	潮風アリーナ	高齢者・色覚障害者擬似体験 体験者数 延135名	

##### イ 「バリアフリー」教室

神奈川運輸支局が実施するバリアフリー教室に、JR大船駅とともに協力して、小学生を対象にバリアフリー体験等を行いました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
2月19日	JR大船駅構内	駅構内での車椅子体験、アイマスク体験、駅のバリアフリー施設見学等 大船小学校4年生を対象	85

#### (6) 横須賀・三浦障害保健福祉圏域相談支援等ネットワーク形成事業

横須賀・三浦障害保健福祉圏域における相談支援等のネットワークの形成を通じて、重層的な相談支援体制を構築し、広域のかつ専門的な支援を行うことにより、障害者の福祉の増進を図る事業を、県から受託する社会福祉法人「ラファエル会」に対し、圏域自立支援協議会の運営等の事業実施について助言しました。

会 議 名	回数
横須賀・三浦障害保健福祉圏域自立支援協議会	3
横須賀・三浦障害保健福祉圏域自立支援協議会 運営委員会	5

(7) 管内市町等への支援

管内市町、社会福祉協議会及び団体が行う福祉事業について、委員会等の委員を受任し、参画しました。

ア 福祉の推進

会議等名称	回数
鎌倉市介護保険運営協議会(地域包括支援センター運営協議会(兼)地域密着型サービス運営委員会)	2
鎌倉市高齢者措置判定委員会	2
鎌倉市在宅医療介護連携推進会議	2
逗子市自立支援協議会 全体会議	2
逗子市自立支援協議会 運営会議	2
逗子市自立支援協議会 専門会議(防災部門)	3
逗子市地域包括支援センター運営協議会	2
逗子市地域密着型サービス運営懇話会	1
葉山町自立支援協議会 全体会	2
葉山町地域ケア会議	1
葉山町介護保険事業計画等運営委員会	3
葉山町地域包括支援センター運営協議会	2
葉山町地域密着型サービス運営委員会	2
葉山町社会福祉協議会地域福祉活動計画進行管理委員会	1
葉山町社会福祉協議会日常生活自立支援事業審査会	4
葉山町社会福祉協議会 はやま住民福祉センター運営委員会	3
横須賀三浦地区ふれあい広場運営委員会・実行委員会	1
横須賀三浦地区障害児者文化事業(ふれあい作品展)	1

イ 計画策定

会議等名称	回数
鎌倉市障害者福祉計画推進委員会	3
鎌倉市高齢者保健福祉計画等推進委員会	4
鎌倉市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会	7
逗子市福祉プラン・地域福祉活動計画策定等懇話会	4
逗子市障がい者福祉計画策定委員会	3
逗子市高齢者保健福祉計画懇話会	4
葉山町障害者福祉計画策定委員会	6

## 6 介護保険

### (1) 介護保険指定事業者指導等事業

介護保険制度の円滑な推進を図るために、県介護保険課、県高齢施設課、各保健福祉事務所、足柄上センターと共催で集団指導を行いました。

また、管内に所在する介護保険指定事業者等に対し、実地指導を行いました。  
(所管地域：鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)

ア 介護保険指定事業者等指導講習会開催状況

月 日	場 所	参加事業所数(管内)
5月8日外 全7日	鎌倉生涯学習センター ほか 全6会場	770

イ 介護保険事業所実地指導件数

	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	計
1 指定訪問介護	13	—	3	—	16
2 指定介護予防訪問介護	12	—	2	—	14
3 指定訪問入浴介護	4	—	—	—	4
4 指定介護予防訪問入浴介護	4	—	—	—	4
5 指定訪問看護	3	—	—	—	3
6 指定介護予防訪問看護	3	—	—	—	3
7 指定訪問リハビリテーション	—	—	—	—	0
8 指定介護予防訪問リハビリテーション	—	—	—	—	0
9 指定居宅療養管理指導	—	—	—	—	0
10 指定介護予防居宅療養管理指導	—	—	—	—	0
11 指定通所介護	16	3	1	3	23
12 指定介護予防通所介護	13	3	1	3	20
13 指定通所リハビリテーション	2	1	—	—	3
14 指定介護予防通所リハビリテーション	2	1	—	—	3
15 指定短期入所生活介護	3	1	—	1	5
16 指定介護予防短期入所生活介護	3	1	—	1	5
17 指定短期入所療養介護	2	1	—	—	3
18 指定介護予防短期入所療養介護	2	1	—	—	3
19 指定特定施設入居者生活介護	2	—	1	—	3
20 指定介護予防特定施設入居者生活介護	2	—	1	—	3
21 指定福祉用具貸与	4	—	—	—	4
22 指定介護予防福祉用具貸与	4	—	—	—	4
23 指定特定福祉用具販売	4	—	—	—	4
24 指定特定介護予防福祉用具販売	4	—	—	—	4
25 指定居宅介護支援	13	6	2	—	21
26 指定介護老人福祉施設	3	1	—	1	5
27 介護老人保健施設	2	1	—	—	3
28 指定介護療養型医療施設	—	—	—	—	0
計	120	20	11	9	160

(2) 事業者実地指導担当者連絡会議

月日	場所	内容	出席者
5月26日	鎌倉保健福祉事務所	<ul style="list-style-type: none"><li>平成25年度事業者実地指導結果について</li><li>平成26年度事業者実地指導計画（案）について</li><li>実地指導への同行と役割分担について</li><li>有料老人ホームの「一時金」の取扱いについて</li><li>指定通所介護の機能訓練指導員の資格等について</li><li>お泊まりデイについて</li><li>管理者の配置時間に対する指導について</li><li>連座制適用による指定の失効について</li></ul>	鎌倉市高齢者いきいき課、逗子市介護保険課、三浦市高齢介護課、葉山町福祉課、当所保健福祉課 職員

(3) 施設職員研修

月日	場所	内容	講師	参加人数
6月11日	ささりんど う鎌倉	介護保険サービスの提供記録について	当所職員	15人

## 7 生活福祉の業務

### (1) 生活保護業務

葉山町を所管する福祉事務所として、生活保護法に基づく保護を行い、その最低生活を保障するとともに自立を支援しました。

#### ア 扶助別被保護世帯数・人員

2015（平成27）年4月1日現在

区分		総数	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	生業扶助	出産扶助	葬祭扶助
町名	世帯数									
葉山町	世帯数	106	94	85	5	20	95	8	—	2
	人員	152	137	125	7	22	123	10	—	2

※出産扶助・葬祭扶助については平成26年度中の実績

#### イ 保護開始・廃止

##### <理由別開始世帯の状況>

2014（平成26）年度

区分	傷世帯主の病	傷世帯員の病	別死・不在	稼働収入の減少				減年金等	減仕送り	消費貯金の費	その他	計
				失定年	老齢	倒産等	その他					
葉山町	1	—	—	4	1	—	2	—	1	3	—	12

##### <理由別廃止世帯の状況>

2014（平成26）年度

区分	病世帯の治癒	病世帯の治癒	死亡	失踪	稼働増加入	転働収入	働手加入	年金等	引取	増仕送り	施設入所	医療費負担	転出	その他	計

#### ウ 世帯類型別被保護世帯の状況

2015（平成27）年4月1日現在

区分	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他の世帯	計
葉山町	51	7	13	12	23	106

#### エ 労働力類型別被保護世帯の状況

2015（平成27）年4月1日現在

区分	稼働世帯					非稼働世帯	計
	世帯主が働いている世帯				世帯員稼働		
	常用	日雇	内職	その他			
葉山町	17	—	2	1	5	81	106

#### オ 医療扶助の状況

2015（平成27）年4月1日現在

区分	入院			入院外			計
	精神	その他	小計	精神	その他	小計	
葉山町	—	1	1	—	122	122	123

#### カ 生活保護施設措置状況

2015（平成27）年4月1日現在

区分	救護施設	更生施設	計
葉山町	1	—	1

キ 保護の開始廃止件数の推移

年 度	2005年度 (平成17)	2006年度 (平成18)	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)	2012年度 (平成24)	2013年度 (平成25)	2014年度 (平成26)
開 始	14	16	11	17	18	33	22	21	13	12
廃 止	12	11	10	7	9	10	15	13	13	12

ク 保護世帯数等の推移(年度平均)

年 度	2005年度 (平成17)	2006年度 (平成18)	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)	2012年度 (平成24)	2013年度 (平成25)	2014年度 (平成26)
世帯数	40	46	49	53	63	78	92	103	109	107
人 員	64	69	74	80	94	116	135	149	156	153
保護率 %	2.03	2.18	2.33	2.49	2.89	3.45	4.00	4.40	4.78	4.72

ケ 生活保護費の状況

(単位：円)

区分 町名	総 額	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	生業扶助	葬祭扶助	施設事務費	就労自立給付
葉山町	149,231,106	90,150,992	50,122,351	746,619	20,736	1,549,188	2,496,070	870,680	3,124,470	150,000

(注) 上記経費は当所において直接支出した扶助費ごとの額です。

(2) 特別障害者手当等の支給状況

特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、在宅の重度障害児者に対し、その重度の障害ゆえに生ずる特別の負担の一助として、特別障害者手当等を支給しました。

(単位：人)

区分 町名	特別障害者手当等		
	障害児福祉手当	福祉手当(経過措置分)	特別障害者手当
葉山町	2	—	12

(3) 母子福祉資金等の貸付

母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づく母子・父子自立支援員による相談指導や母子家庭等の経済的自立の助成、生活意欲の助長、児童の福祉の増進等のため、母子福祉資金、父子福祉資金及び寡婦福祉資金の貸付を行いました。

市町名	区分	技能	就職	転宅	医療	生活	修学	就学	修業	結婚	児童	計
		習得	支度		介護		修学	支度			扶養	
鎌倉市	母子	—	—	—	—	1	18	14	1	—	—	34
	寡婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
逗子市	母子	2	—	—	—	—	13	13	—	—	—	28
	寡婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
葉山町	母子	—	—	—	—	—	4	2	—	—	—	6
	寡婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
計	母子	2	—	—	—	1	35	29	1	—	—	68
	寡婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0

(4) 母子・父子自立支援員の設置

福祉事務所に母子・父子自立支援員を設置し、母子家庭、父子家庭及び寡婦家庭の自立に必要な福祉資金の貸付をはじめとして、生活全般にわたる相談・援助を行いました。

<相談援助実施状況（相談回数）>

区分	生 活 一 般								計
	住 宅	医療・健康	家 庭 紛 争		就 労	養育費	その他	小 計	
夫等の暴力			その他						
市町名									
葉山町	—	1	—	7	25	9	1	43	

区分	児 童						計
	養 育	教 育	非 行	就 職	その他	小 計	
市町名							
葉山町	—	4	—	—	—	—	4

区分	経 済 的 支 援 ・ 生 活 援 護										計
	母 子 福 祉 資 金 貸 付	寡 婦 福 祉 資 金 還 付	公 的 金	児 童 扶 養 手 当	生 活 保 護 税	その他	小 計				
市町名											
葉山町	31	28	—	—	—	17	—	1	—	—	77

区分	そ の 他						計
	売 店	た ば こ 販 売	公 営 住 宅	施 設 利 用	母 子 生 活 支 援 施 設	小 計	
市町名							
葉山町	—	—	—	—	—	—	0

<自立支援給付金事業の実施状況（給付件数）>

自立支援教育訓練給付金	高等技能訓練促進費
—	3

(5) 関連する業務

DV防止法（配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律）においては、福祉事務所は女性相談所、配偶者暴力相談支援センターと連携し、被害者の自立支援のために必要な援護措置をとることとなり、相談・援助を行いました。

年度	援助内容	面接	電話	一時保護
2009（平成21）年度		2	12	—
2010（平成22）年度		9	3	3
2011（平成23）年度		11	5	2
2012（平成24）年度		5	6	4
2013（平成25）年度		1	3	2
2014（平成26）年度		5	1	—



## 第5章 保健予防課

# 保 健 予 防 課 業 務

結核・エイズ・感染性疾患の予防対策や、精神保健福祉、難病対策、認知症疾患対策事業等、専門的・技術的な事業の推進を図っています。

## 1 結核予防

結核患者の発生届出受理後登録を行い、医療機関と連携して患者の治療完結に結びつけるとともに、家族等の接触者に対して健康診断を行いました。また、医療従事者等に対し、結核に関する知識を深め、早期発見・早期治療を促進するため研修会を行いました。

## 2 感染症予防

平時は、インフルエンザ・感染性胃腸炎等の季節等に応じて一般住民に多く発生する感染症について、定点医療機関からの報告・還元によるまん延防止のための普及啓発をしています。法律に基づく赤痢・腸管出血性大腸菌感染症（O157）等の感染症の発生届出等による患者を把握した場合は、患者及びその家族・接触者の疫学調査及び健康診断を行い、原因究明及びまん延防止に努めています。

また、B型・C型肝炎の感染の心配がある方に対し検査及び相談を行うとともに、B型肝炎・C型肝炎ウイルスに感染した方がインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療を受ける場合の医療援護事務を行いました。平成26年9月からは、インターフェロンフリー治療も新たに医療費助成の対象となりました。

## 3 エイズ予防

感染の予防と早期発見のために、相談及びHIV抗体検査を実施しました。また、中学生・高校生等の若い世代を中心に、エイズや性感染症に対する正しい知識の普及啓発を図りました。

## 4 難病対策

特定疾患・指定難病患者への医療援護事務を行うとともに、難病患者及びその家族を対象に訪問指導を行うほか、講演会及び交流会等を開催しました。また、患者及びその家族の実態に応じた地域の支援体制づくりのための在宅療養支援計画策定・評価委員会を開催しました。

## 5 原爆被爆者援護

被爆者健康手帳等交付申請・各種の手当支給申請・医療援護等の事務を行うほか、定期健康診断を行いました。

## 6 認知症対策

認知症患者とその家族に対して、専門医や保健師による相談・訪問指導を行いました。また、徘徊高齢者を早期に発見するため、市町が設置している地域ネットワークが円滑に運営されるよう支援しました。更に、地域における認知症対策の推進のため、処遇困難事例に関する研修会を開催しました。

## 7 精神保健福祉

精神疾患の早期発見・早期治療や再発防止を図るため、専門医による定例相談及び福祉職・保健師による随時相談及び集団指導を行うとともに、精神障害者の生活支援、社会復帰の促進に努めるため、関係団

体やボランティア等の育成及び活動支援を行いました。また、自殺防止対策の取り組みとして、関係機関や団体との連携を図るため会議や地域住民・関係者に対する研修会を開催しました。

## 1 結核予防

### (1) 健康診断

#### ア 管理検診・接触者健康診断

経過観察中の結核患者に対する管理検診、患者家族・接触者に対する健康診断を実施しました。

区 分	対象者	受 診 者		受 診 結 果		
		保健所	受診券交付	要医療	経過観察	異常なし
管理検診	8	—	8	0	5	3
接触者健康診断	217	155	62	0	73	144

※ 医療機関の継続受診分は除く

### (2) 保健指導

適切な治療の確保、医療中断の防止、家族・接触者に対する感染予防、発病予防等の指導を実施しました。

家庭訪問		所内指導(延人数)			
実人数	延人数	電話	面接	文書	計
40	109	583	126	103	812

### (3) 結核医療従事者研修

結核予防思想の普及啓発のため、管内の医療機関担当者等を対象に研修を開催しました。

月 日	内 容	講 師	参加人員
11月27日	結核の診断の遅れを防ぐために～ 早期発見、早期治療のために必要なこと～	(公財)結核予防会 複十字病院 診療主幹 吉山崇氏	38

(4) 結核患者の状況

ア 登録患者数

(ア) 総登録患者数 75名 (受療別・市町村別・年齢別) (平成26年12月31日現在)

区分		総数	活動性肺結核	活動性肺外結核	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核(別掲)
受療別	入院	5	5	—	—	—	—
	在宅医療	21	19	1	—	1	8
	経過観察	49	—	—	43	6	24
	不明	—	—	—	—	—	—
市町村別	鎌倉市	58	15	2	34	7	16
	逗子市	12	6	—	6	—	14
	葉山町	5	2	—	3	—	2
年齢別	0～4歳	—	—	—	—	—	2
	5～9歳	1	—	—	1	—	1
	10～14歳	—	—	—	—	—	—
	15～19歳	—	—	—	—	—	1
	20～29歳	—	—	—	—	—	3
	30～39歳	6	—	1	5	—	7
	40～49歳	5	3	—	2	—	6
	50～59歳	7	1	1	5	—	5
	60～69歳	11	2	—	7	2	—
	70～79歳	11	3	—	7	1	6
80歳～	34	14	—	16	4	1	

(イ) 新登録患者数(活動性分類別・市町村別・年齢別) (平成26年1月1日～12月31日)

区分		総数	活動性肺結核				活動性肺外結核	潜在性結核(別掲)
			総数	(内訳)				
				喀痰塗抹陽性	その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
平成26年		26	23	13	8	2	3	13
市町村別	鎌倉市	19	16	9	6	1	3	9
	逗子市	6	6	3	2	1	—	4
	葉山町	1	1	1	—	—	—	—
年齢別	0～4歳	—	—	—	—	—	—	2
	5～9歳	—	—	—	—	—	—	—
	10～14歳	—	—	—	—	—	—	—
	15～19歳	—	—	—	—	—	—	—
	20～29歳	—	—	—	—	—	—	2
	30～39歳	2	1	—	1	—	1	2
	40～49歳	2	2	1	1	—	—	1
	50～59歳	2	1	—	1	—	1	3
	60～69歳	2	2	1	1	—	—	—
	70～79歳	4	3	2	1	—	1	3
80歳～	14	14	9	3	2	—	—	

イ 結核登録状況の推移

(各年12月31日現在登録患者数/人口×10万)

年	神奈川県		管内		鎌倉市		逗子市		葉山町	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
2010(平成22)年	4,236	46.8	77	29.0	51	29.3	18	30.9	8	24.4
2011(平成23)年	4,275	47.2	77	29.0	52	29.8	16	27.4	9	27.4
2012(平成24)年	4,008	44.2	38	47.2	28	10.6	6	10.3	4	12.2
2013(平成25)年	3,692	40.7	81	30.6	60	34.6	13	22.5	8	23.8
2014(平成26)年	…	…	75	28.4	58	33.4	12	20.7	5	15.4

(注) 潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

ウ 結核り患状況の推移

(新登録患者数/人口×10万)

年	神奈川県		管内		鎌倉市		逗子市		葉山町	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率
2010(平成22)年	1,577	17.4	43	16.2	26	14.9	11	18.9	6	18.3
2011(平成23)年	1,561	17.2	33	12.4	20	11.5	8	13.7	5	15.2
2012(平成24)年	1,395	15.4	38	14.3	31	17.8	4	6.9	3	9.1
2013(平成25)年	1,353	14.9	33	12.4	23	13.2	7	12.1	3	8.9
2014(平成26)年	…	…	26	9.8	19	10.9	6	10.4	1	3.1

(注) 潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

エ 活動性結核有病状況の推移

(各年12月31日現在活動性結核患者数/人口×10万)

年	神奈川県		管内		鎌倉市		逗子市		葉山町	
	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率
2010(平成22)年	1,350	14.9	32	12.1	19	10.9	7	12.0	6	18.3
2011(平成23)年	1,310	14.5	21	7.9	14	8.0	5	8.6	2	6.1
2012(平成24)年	1,022	11.3	10	2.3	8	4.6	1	1.7	1	3.0
2013(平成25)年	913	10.1	21	7.9	17	9.8	3	5.2	1	3.0
2014(平成26)年	…	…	23	8.7	16	9.2	6	10.4	1	3.1

(注) 潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

(5) 感染症診査協議会・結核部会

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく入院勧告及び公費負担の申請医療内容の適否について、必要な事項を審議しました。

ア 入院勧告及び医療費公費負担診査件数

平成26年1月1日～平成26年12月31日

区分	20条入院勧告	37条の2	保険内訳						
			被用者保険		国民健康保険		高齢医療	生活保護	その他
			本人	家族	一般	退職本人・家族			
申請件数(計)		72	17	6	22	—	24	3	—
医療内容合格		72	17	6	22	—	24	3	—
公費負担承認		72	17	6	22	—	24	3	—
公費負担不承認		0	—	—	—	—	—	—	—
入院勧告件数	14								
入院延長	27								

## 2 感染症予防

### (1) 全数把握対象疾患情報 (※結核は除く)

ア 発生状況 (鎌倉保健福祉事務所への発生届／調査依頼)

- ・患者居住地に関わらず、管内の医療機関からは鎌倉保健福祉事務所に発生届が提出されます。
- ・他保健所が受理した発生届の患者・接触者について、居住地が管内の場合には調査依頼があります。

類型	疾患名	平成26年度		平成25年度	
		発生届	調査依頼	発生届	調査依頼
三 類	細菌性赤痢	—	1	4	—
	腸管出血性大腸菌感染症	4	2	3	3
	腸チフス	—	—	1	—
	パラチフス	—	1	—	—
四 類	A型肝炎	—	—	3	—
	デング熱	3	1	—	—
	レジオネラ症	18	—	3	1
	ライム病	1	—	—	—
五 類	アメーバ赤痢	—	/	5	/
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1	
	後天性免疫不全症候群	1		—	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	—		1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	2		1	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1		6	
	風しん	1		25	
	麻しん	10		2	
	梅毒	3	—	—	—

イ 患者・接触者（同行者）疫学調査実施状況（他保健所からの調査依頼を含む）

類型	疾患名	調査数	対象		検査人数	保菌者数	海外渡航先
			患者	接触者			
三 類	細菌性赤痢	1	1	3	3	—	インドネシア
	腸管出血性大腸菌感染症	6	1	1	1	—	
			1	1	1	—	
			1	—	1	—	
			1	3	3	1	
			1	—	1	—	
			1	—	2	—	モロッコ
四 類	デング熱	4	1	—	1	1	
			1	—	1	1	
			1	—	—	1	
			1	—	1	1	
四 類	レジオネラ症	18	1	—	1	—	
			1	—	1	1	
			1	—	1	1	
			1	—	1	—	
			1	—	1	1	
			1	—	1	—	
			1	—	—	—	
			1	—	1	—	
			1	—	1	—	
			1	—	1	—	
			1	—	1	1	
			1	—	—	—	
			1	—	1	—	
			1	—	1	—	
			1	—	1	—	
五 類	麻しん	11	12	31	10	1	
	風しん（麻しん陰性による検査診断）	1	1	—	—	—	

(2) 感染症施設集団発生報告

報告施設		感染性胃腸炎		インフルエンザ	
		H26年度	H25年度	H26年度	H25年度
社会福祉施設等	特別養護老人ホーム	—	—	3	1
	有料老人ホーム	2	5	2	—
	介護老人保健施設	—	—	2	—
	通所介護施設	1	—	—	—
	認知症グループホーム	1	1	1	—
	保育園	—	2	—	2
その他	医療機関	—	—	2	—
報告件数合計		4	8	10	3



(3) 集団かぜ（インフルエンザ）による臨時休業状況（延べ数）

施設	平成26年度（2014/15シーズン）					平成25年度（2013/14シーズン）				
	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	患者数	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	患者数
保育園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
幼稚園	3	—	1	2	22	8	—	—	10	106
小学校	23	—	2	55	392	41	—	5	48	578
中学校	5	—	4	6	111	6	—	2	5	113
高校	2	—	1	1	35	2	—	—	2	19
その他	1	1	—	—	7	1	—	—	1	5
計	34	1	8	64	567	58	0	7	66	821

(4) 健康教育

月日	内容	対象	講師	参加人数
8月16日	手洗いの大切さ	鶴の子会（こども会）の小学生	当所 保健師	98

(5) 肝疾患対策

ア C型及びB型肝炎ウイルス検査実施状況（平成20年1月～無料検査実施）

区分	2010(平成22)年度		2011(平成23)年度		2012(平成24)年度		2013(平成25)年度		2014(平成26)年度	
	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行
C型肝炎	25	—	9	—	8	—	17	—	4	3
B型肝炎	25	—	9	—	8	—	17	—	5	2

イ 肝炎治療医療費助成制度の申請者数

区分	年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
		(平成22)	(平成23)	(平成24)	(平成25)	(平成26)	
インターフェロン治療	申請者数	54	34	34	14	4	※平成20年4月からインターフェロン治療等に対する医療費助成制度が開始され、平成22年4月から核酸アナログ製剤治療、平成24年1月から3剤併用療法、平成26年9月からインターフェロンフリー治療が新たに助成対象となりました。
	承認数	54	31	34	14	4	
	不承認数	0	3	0	0	0	
3剤併用療法	申請者数	/	8	21	12	24	※保留1
	承認数		8	21	12	24	
	不承認数		0	0	0	0	
インターフェロンフリー治療	申請者数	/				58	※保留1
	承認数	/				57	
	不承認数	/				0	
核酸アナログ製剤治療	申請者数	60	71	76	87	101	
	承認数	60	71	76	87	100	
	不承認数	0	0	0	0	1	

ウ 肝臓病教室

ウイルス性肝炎について正しく理解し、今後の治療の展望を知ることが目的に講演会等を開催しました。

月日	内容	講師	参加人員
2月13日	平成26年度 肝臓病教室 ① 講演会～進化する肝炎治療～ ② 相談会・交流会	国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝疾患先端治療室長 村田一素氏	37

### 3 エイズ予防

HIVウイルスの感染拡大を防ぐため、相談・検査事業を実施したほか、正しい知識の普及・啓発を行いました。

#### (1) エイズ相談・検査

##### ア エイズ相談・検査実施状況

区 分	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)	2012年度 (平成24)	2013年度 (平成25)	2014年度 (平成26)
相 談	174	171	137	92	112
検 査	66	57	51	34	56

##### イ エイズ検査（性・年齢別）実施状況

区 分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不明	計
男	1	12	11	12	—	2	—	38
女	1	9	4	4	—	—	—	18

#### (2) エイズ予防普及事業

##### ア 青少年エイズ・性感染症予防講演会（6回：1,186名）

月 日	実施校名	対象	受講者数
6月13日	県立逗葉高等学校	1年生	278
7月18日	県立七里ガ浜高等学校	1年生	359
2月23日	鎌倉市立御成中学校	3年生	128
2月26日	鎌倉市立第二中学校	3年生	68
3月3日	逗子市立沼間中学校	3年生	75
3月12日	県立逗子高等学校	1年生	278

#### 4 難病対策

原因不明あるいは治療方法が未確立の特定疾患・指定難病患者に対し、医療給付申請を受け付けるとともに、各種相談事業を実施しました。

※ H27. 1. 1～H27. 3. 31の新制度に伴う指定難病の医療給付者数は、未掲載。

##### (1) 特定疾患医療給付

(平成27年3月31日現在)

疾患名	鎌倉市			逗子市			葉山町			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1 ベーチェット病	13	11	24	4	7	11	1	4	5	18	22	40
2 多発性硬化症	3	12	15	2	10	12	3	1	4	8	23	31
3 重症筋無力症	16	17	33	4	8	12	4	6	10	24	31	55
4 全身性エリテマトーデス	6	70	76	5	27	32	1	11	12	12	108	120
5 スモン	-	1	1	-	-	0	-	-	0	-	1	1
6 再生不良性貧血	3	10	13	5	6	11	1	1	2	9	17	26
7 サルコイドーシス	5	16	21	1	7	8	1	3	4	7	26	33
8 筋萎縮性側索硬化症	5	5	10	3	4	7	1	-	1	9	9	18
9 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	14	62	76	1	34	35	3	8	11	18	104	122
10 特発性血小板減少性紫斑病	7	15	22	5	3	8	3	6	9	15	24	39
11 結節性動脈周囲炎	7	9	16	2	4	6	1	5	6	10	18	28
12 潰瘍性大腸炎	126	135	261	34	58	92	33	25	58	193	218	411
13 大動脈炎症候群	1	7	8	-	2	2	-	-	0	1	9	10
14 ビュルガー病	2	1	3	1	-	1	1	-	1	4	1	5
15 天疱瘡	3	7	10	1	3	4	-	1	1	4	11	15
16 脊髄小脳変性症	21	16	37	7	9	16	2	6	8	30	31	61
17 クロウン病	42	20	62	15	5	20	4	3	7	61	28	89
18 難治性肝炎のうち劇症肝炎	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0
19 悪性関節リウマチ	5	9	14	-	5	5	-	3	3	5	17	22
20 パーキンソン病関連疾患	113	154	267	41	46	87	19	25	44	173	225	398
21 アミロイドーシス	-	-	0	-	1	1	-	-	0	-	1	1
22 後縦靭帯骨化症	30	10	40	18	10	28	6	7	13	54	27	81
23 ハンチントン病	1	-	1	-	-	0	-	-	0	1	-	1
24 モヤマヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	6	10	16	1	2	3	-	2	2	7	14	21
25 ウェグナー肉芽腫症	1	1	2	1	2	3	-	1	1	2	4	6
26 特発性拡張型(うっ血型)心筋症	28	8	36	9	-	9	5	-	5	42	8	50
27 多系統萎縮症	10	8	18	1	4	5	-	2	2	11	14	25
28 表皮水疱症	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0
29 膿疱性乾癬	-	2	2	1	-	1	-	-	0	1	2	3
30 広範脊柱管狭窄症	5	-	5	5	3	8	2	-	2	12	3	15
31 原発性胆汁性肝硬変	5	29	34	-	8	8	1	6	7	6	43	49
32 重症急性膵炎	1	-	1	1	-	1	-	-	0	2	-	2
33 特発性大腿骨頭壊死症	6	13	19	5	5	10	-	3	3	11	21	32
34 混合性結合組織病	1	16	17	-	3	3	-	2	2	1	21	22
35 原発性免疫不全症候群	1	2	3	-	-	0	-	-	0	1	2	3
36 特発性間質性肺炎	10	5	15	6	4	10	7	2	9	23	11	34
37 網膜色素変性症	18	30	48	9	11	20	4	2	6	31	43	74
38 プリオン病	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0
39 肺動脈性肺高血圧症	2	-	2	-	1	1	-	-	0	2	1	3
40 神経線維腫症	2	2	4	2	1	3	-	1	1	4	4	8
41 亜急性硬化性全脳炎	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0
42 バッド・キアリ症候群	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0
43 慢性血栓性肺高血圧症	1	4	5	-	1	1	-	-	0	1	5	6
44 ライソゾーム病	3	-	3	1	-	1	-	-	0	4	-	4
45 副腎白質ジストロフィー	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0
46 家族性高コレステロール血症	-	-	0	-	1	1	-	-	0	-	1	1
47 脊髄性筋萎縮症	1	-	1	-	-	0	-	-	0	1	-	1
48 球脊髄性筋萎縮症	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1	-	1	2	-	2	-	-	0	3	-	3
50 肥大型心筋症	1	1	2	2	1	3	-	-	0	3	2	5
51 拘束型心筋症	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0
52 ミトコンドリア病	2	1	3	2	-	2	-	-	0	4	1	5
53 リンパ脈管筋腫症	-	1	1	-	2	2	-	-	0	-	3	3
54 重症多形滲出性紅斑	-	1	1	-	-	0	-	-	0	-	1	1
55 黄色靭帯骨化症	5	-	5	4	-	4	-	-	0	9	-	9
56 間脳下垂体機能障害	12	17	29	3	3	6	2	2	4	17	22	39
計	545	738	1,283	204	301	505	105	138	243	854	1,177	2,031

## (2) 相談

区 分	面接	電話	文書	計
件 数	220	331	9	560

## (3) 訪問指導

保健師・看護師による訪問指導を行いました。

区 分	膠原病		血液系		循環器系		神経系		消化器系		計	
	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数
件 数	1	3	—	—	—	—	23	38	—	—	24	41

## (4) 医療相談等

区 分	回数	対象疾患	内 容	講師等	参加人員
講演会	2	神経系難病	パーキンソン病とは？ ～症状と治療について～	①横浜市立大学附属 市民総合医療センター 神経内科医 岸田日帯氏 ②全国パーキンソン病友の会 神奈川支部長 檜垣朋子氏	48
		全疾患	災害時の備えについて	横浜市立大学 医学部看護学科 地域看護学領域 臺有桂氏	14
相談会	24	全疾患	療養生活について	保健師	72
患者・家族の 交流会 (らく楽の会)	10	全疾患	・体操、レクリエーション ・絵手紙 ・音楽会 ・講話（健康づくり）	スポーツプログラマー 橘高靖子氏 美術教師 松浦みどり氏 ハル会フィリッパ 赤羽宏之氏 当所歯科医師、歯科衛生士、 栄養士、保健師	72

## (5) 在宅療養支援計画策定・評価事業

月 日	内 容	出席人員
2月18日	・難病対策の動向 ・医療依存度の高い在宅難病者の災害時に備えた図上シミュレーションについて ・意見交換	26

## (6) 健康教育

月 日	内 容	場 所	参加人員
8月19日	難病・特定疾患について (新人ケアマネージャー研修)	鎌倉市福祉センター	19

## 5 原爆被爆者援護

原子爆弾被爆者援護法及び神奈川県原子爆弾被爆者等の援護に関する要綱に基づき、定期健康診断を実施するとともに、被爆者及びそのこどもを対象に被爆者健康手帳等の交付申請や医療費・各種手当の支給申請を受け付けました。

### (1) 被爆者健康手帳等交付状況

区 分	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
被爆者健康手帳	174	49	15	238
第一種健康診断受診者証	—	1	—	1
第二種健康診断受診者証	2	2	—	4
被爆者のこども健康診断受診証	172	64	20	256
計	348	116	35	499

### (2) 被爆者等定期健康診断受診状況

区 分	被爆者	特例受診	被爆者のこども	計
2012(平成24)年度計	6	—	7	13
2013(平成25)年度計	8	—	5	13
2014年度 (平成26)	第1回 5月	—	3	3
	第2回11月	—	1	1
	計	—	4	4

## 6 認知症対策

認知症患者及びその家族が地域の中でよりよい生活が送れるように、相談・訪問指導を行うとともに、地域の関係者への支援を実施しました。

### (1) 相談事業

#### ア 相談内容

区 分	件数(実)	内 容 (延べ件数)						
		疾病一般	問題行動	治療・入院	看護介護	介護者の問題	介護保険サービス	その他
定例相談	23	22	10	16	1	—	1	18
随時相談	75	74	2	8	63	—	5	4
計	98	96	12	24	64	0	6	22

#### イ 相談対象・方法

区 分	件数(延)	対 象		方 法			
		新規相談	継続相談	電 話	面 接	訪 問	文書等
定例相談	24	23	1	—	13	11	—
随時相談	78	75	3	69	8	—	1
計	102	98	4	69	21	11	1

## (2) 訪問指導

日常生活に看護や介護を要する本人及び家族に対し、認知症の対応について助言・指導を行いました。

### ア 性別

	男		女		計	
	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数
計	1	2	1	2	2	4

### イ 年齢別(実)

	60歳代以下	70歳代	80歳代	90歳代	計
計	—	1	1	—	2

## (3) 処遇困難事例検討事業

高齢者の尊厳が尊重される社会の実現に向け、認知症や高齢者虐待についての理解を深め、必要な体制が整備されるよう、研修会や事例検討会等を実施しました。

### ア 研修会及び講演会

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
10月7日	鎌倉保健福祉事務所	高齢者虐待対応セミナー「高齢者虐待の早期発見と判断・対応について」	日本高齢者虐待防止研究・研修センター 開設準備室長 梶川義人氏	44

### イ 事例検討会

月 日	場 所	内 容	助 言 者	参加人員
9月5日	鎌倉保健福祉事務所	70代男性。関わり方の検討、関係機関の役割分担。	医師、福祉職	4
10月7日	鎌倉保健福祉事務所	90代母と70代息子の2人暮らし。息子は適応障害あり、母の世話が十分できないケースへの対応について。	日本高齢者虐待防止研究・研修センター 開設準備室長 梶川義人氏	44
10月23日	鎌倉保健福祉事務所	70代男性、入院中。退院後の生活について。	医師、福祉職	7

### ウ ネットワーク整備の検討

月 日	場 所	内 容	参加人員
10月7日	鎌倉保健福祉事務所	SOSネットワークの実情と課題について	10

#### (4) 地域支援

・認知症の方を支える家族会（かまくらりんどうの会：自主グループ）、地域グループ（今泉台すけつと会：自主グループ）、一般社団法人かまくら認知症ネットワーク（自主グループ）との情報共有、必要時の支援を行いました。

・鎌倉・逗子・葉山徘徊高齢者SOSネットワークにより徘徊により行方不明となった方の早期発見・保護のため関係機関に連絡調整を行いました。

内容	鎌倉市	逗子市	葉山町	管轄外	計
家族等からSOSネットに検索依頼件数	3	3	7	148	161
身元不明の高齢者等が保護された件数	2	—	—	21	23

## 7 精神保健福祉

### (1) 相談・訪問指導

受診、病気の治療、日常生活、社会復帰等について、医師、福祉職、保健師等が相談・訪問を行いました。

#### ア 把握区分

区分	人数		保健所 把握新 (注1)	年度新 (注2)	再
	実人員	延べ人員			
相談	307	1,175	211	96	868
訪問	20	268	12	8	248

注1) 保健所で初めて取り扱ったケース

注2) 過去に把握したが26年度に再度相談・訪問したケース

#### イ 相談（性別・年齢別）

区分	計	性別			年 齢									
		男	女	不明	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明
実人員	307	157	150	—	—	14	25	42	82	56	39	26	7	16
延べ人員	1,175	636	538	1	—	47	71	188	403	186	192	56	12	20

#### ウ 訪問（性別・年齢別）

区分	計	性別			年 齢									
		男	女	不明	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明
実人員	20	14	6	—	—	1	2	3	5	2	5	2	—	—
延べ人員	268	155	113	—	—	8	13	54	98	36	35	22	2	—

#### エ 相談・訪問契機別

区分	実人員	病院	市町村	その他
相談	307	29	47	231
訪問	20	—	5	15

#### オ 相談・訪問問題別

区分	実人員	治療の問題	生活上の問題	社会復帰の問題	その他
相談	307	206	52	11	38
訪問	20	14	5	—	1

#### カ 被面接者数

区分	本人	家族	関係者	その他	計
相談	340	415	376	281	1,412
訪問	207	162	150	108	627



キ 診断名

区分	実 人 員	失 調 症 合	認 知 症	情 気 分 障 害 感	て ん か ん	ル 依 存	薬 物 依 存	人 成 格 障 害	関 連 障 害	精 神 障 害	診 断 保 留	認 異 め 常 ず と	未 受 診	不 明
相 談	307	88	20	29	—	21	4	7	37	16	6	3	27	49
訪 問	20	7	—	1	—	4	1	—	1	3	—	—	2	1

ク 担当者（延べ人数）

	医 師	福祉職	保健師	その他	延件数
相 談	38	1,171	6	12	1,227
訪 問	14	267	7	10	298

(2) 教育広報活動

ア ハンドブックの作成

関係機関職員のスキルアップを目的に「地域関係機関人材育成事業」として各種研修等を行い、アセスメントハンドブックとしてまとめ配布しました。また、自殺対策として相談窓口の冊子を作成し、関係機関等に配布しました。

- ・ 精神保健福祉 アセスメントハンドブック 100部
- ・ 「生きる」を支える相談窓口 カラフルパレット 2000部

イ 精神保健福祉協力者の育成指導

市民を対象にした精神保健福祉ボランティア養成講座である精神保健福祉セミナーの運営委員会に出席し、企画・実施・講義等の支援を行いました。

(ア) 精神保健福祉セミナー運営委員会

月 日	内 容	回 数
5月～3月	鎌倉市精神保健福祉セミナー運営委員会	7

(イ) 講師派遣

精神保健福祉セミナーで講義を行いました。

月 日	内 容	回 数
10月29日、1月14日	精神保健福祉の歴史的背景、地域支援等	2

(3) 団体支援及び連携

地域作業所など生活支援事業所の連絡会、断酒会（鎌倉逗子断酒会）の研修会等に参加し、助言を行いました。

区 分	回数	内 容
断酒会	1	研修会
その他	6	地域生活サポートセンターとらいむ運営委員会、神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会鎌倉逗葉ブロック会議等

#### (4) 社会復帰の支援

##### ア 集団指導活動

アルコール依存症の本人・家族を対象にアルコール教室を実施しました。

区 分	回 数	参 加 人 員		内 容
		実 人 員	延 べ 人 員	
アルコール教室	11	29	71	アルコール依存症の学習、グループミーティング

##### イ 普及啓発

関係機関、当事者、家族、市民を対象として、病気や障害についての正しい理解を促す機会として精神保健福祉セミナーを実施しました。また、精神保健福祉センターと共催で地域支援研修、酒害予防研修を実施しました

月 日	内 容	講 師	参加人員
6月19日	統合失調症について	メンタルホスピタルかまくら山 医師 木村茂氏	44
7月9日	精神保健福祉地域支援場面における アセスメント面接	日本社会事業大学専門職大学院 准教授 古谷龍太氏	39
12月15日	飲酒問題を抱えた方への理解やか かわりについて	東海大学健康科学部 准教授 稗田里香氏	56

#### (5) 精神保健福祉業務（法定業務）

精神保健福祉法に基づく精神保健指定医による診察や、精神病院の現地指導・審査を行い、病院の実態を把握し、よりよい医療や入院制度の適正化を図りました。また、医療観察法対象者に対して地域定着に向けた支援を行いました。

##### ア 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく申請・通報（22条・23条）に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。

区 分	件 数	指 定 医 診 察 実 施				不実施	
		要 措 置	不 要 措 置			受 療 指 導 等	そ の 他
			入 院	入 院 外	医 療 不 要		
22条	1	—	—	—	—	—	1
23条	17	9	2	—	—	6	—

##### イ 精神科病院現地指導・現地審査（法38条の6）

（ア）精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する現地指導

月日	施設名
10月27日	メンタルホスピタルかまくら山
11月18日	福井記念病院

※福井記念病院については三崎センターと合同実施

（イ）精神保健福祉法に基づく現地審査（措置入院者・医療保護入院者の精神保健指定医の診察）

施設名	医 療 保 護 入 院			任 意 入 院		
	継 続	移 行	入 院 不 要	継 続	移 行	入 院 不 要
メンタルホスピタル かまくら山	3	—	—	—	—	—
福井記念 病 院	6	—	—	—	—	—

ウ 医療保護事務

区 分	件 数
入退院届（法33の1他）	244
定期病状報告（法38条の2）	24

エ 医療観察法

内 容	回数
医療観察法対象者ケア会議	7

(6) 会議

関係各機関・団体を対象に、管内の地域特性に応じた精神保健福祉対策の推進について、会議を開催しました。

ア 保健福祉サービス連携調整会議（地域精神保健福祉委員会）

月 日	内 容	出席人員
3月4日	自殺対策の取り組み、退院支援・地域移行、精神保健福祉アセスメントハンドブックについて	23

イ 管内市町等精神保健福祉担当者連絡会

月 日	出 席 者	内 容	出席人員
5月29日	市町：精神保健福祉担当者 管内相談支援事業所 精神科病院等	関係機関の精神保健福祉業務の実施状況と今年度の計画、精神保健福祉法改正における退院支援等	19

ウ 横須賀三浦・藤沢地域精神科病院関係機関連絡会

月 日	出 席 者	内 容	出席人員
10月9日	市町：精神保健福祉担当者 精神科病院	テーマ：「医療と福祉の連携」～長期入院者の地域移行・退院支援に向けた連携・支援（事例発表）	20

エ コンサルテーション

具体的な事例について精神保健福祉センター医師、専門職から助言を得ました。

回 数	出 席 者	出 席 延 人員
2	市町（市民健康課・福祉課等担当者）、 相談支援事業所、地域包括支援センター等 助言者：精神保健福祉センター医師、福祉職	50

オ その他会議への出席

会 議 名	回 数
鎌倉市自立支援協議会	2
鎌倉市自立支援協議会専門部会	4
鎌倉市自立支援協議会ワーキング	1
かまくら成年後見制度連絡会	4
逗子市自立支援協議会専門会議	2
逗子市地域包括ケア会議	1
こころの相談センターチームブルー相談支援ネットワーク会議	3

(7) ころといのちのサポート事業

ア いきるを支える鎌倉・逗子・葉山実行委員会

地域の自殺対策の一環として、実行委員会を開催し、関係機関とのつながりを強化し、研修会等による命の大切さの理解、自殺や精神疾患に対する正しい知識の普及啓発に努めました。

実行委員：鎌倉市・逗子市・葉山町  
 鎌倉市社会福祉協議会・逗子市社会福祉協議会・葉山町社会福祉協議会  
 地域生活サポートセンターとらいむ・鎌倉保健福祉事務所

開催回数：8回

(研修会)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
2月4日	鎌倉市福祉センター	「いきるを支える」研修会 - 自死遺族の想い - - 自殺対策の先にある地域づくり -	NPO法人 自殺対策支援センター ライフリンク 代表 清水康之氏 NPO法人 全国自死遺族総合支援センター 事務局長 南部節子氏	86

イ 社会的ひきこもり支援事業

狭義の精神疾患が原因ではない「社会的ひきこもり」を対象に支援事業を実施しました。

<講演会> (青少年センター、精神保健福祉センター、藤沢市保健所、茅ヶ崎保健福祉事務所と共催)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
6月27日	藤沢市保健所	ひきこもりの理解と対応 ~その背景を医学的に問う	神奈川県立精神医療センター 精神科医師 横山琢也氏	79

ウ 研修会

事業所の事業主・安全衛生管理者・労務担当者等を対象に、職域におけるメンタルヘルス対策の研修会を開催しました。また、管内支援機関職員を対象にゲートキーパーの研修を開催しました。

(ア) 横須賀労働基準監督署管内対象 (横須賀市保健所、三崎センターと合同開催)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
11月12日	横須賀市生涯学習センター	メンタルヘルス不調者の早期発見と適切な対応について~新型うつを中心に~	(株)リコー 日本統括本部 総務統括センター H&S総括部 総括産業医 森田哲也氏	154

(イ) ゲートキーパー (ころサポート) 養成研修

月 日	場 所	内 容	対 象	参加人員
12月9日	鎌倉市商工会議所	ゲートキーパー養成研修	鎌倉理美容組合員	168
12月10日	地域包括支援センター 聖テレジア	ゲートキーパー養成研修	地域包括支援センター職員	66
1月29日	メンタルホスピタルかまくら山	ゲートキーパー養成研修	メンタルホスピタルかまくら山職員	28
2月26日	逗子文化プラザホール	ゲートキーパー養成研修	逗子市介護サポーター	15

## 第6章 環境衛生課

# 環 境 衛 生 課 業 務

安全で快適な生活環境を確保するため、環境衛生営業施設、水浴場、特定建築物、水道施設等の衛生確保対策及び動物保護対策を推進しています。

また、医薬品等の安全性の確保、毒物劇物による危害防止に努めています。

## 1 環境衛生営業施設等の衛生確保

理容・美容所、旅館等環境衛生関係営業6業種及び水浴場等の許認可、監視指導を実施するとともに、営業者による自主管理の推進を指導し、また、旅館、美容所及び水浴場関係者に対して衛生講習会を実施しました。さらに、海水浴場の水質検査を実施しました。

## 2 生活環境施設等の衛生確保

浄化槽の維持管理指導、多数の人が利用する大規模建築物内の空気環境の衛生管理指導や専用水道、簡易専用水道、小規模受水槽水道の維持管理指導等を実施しました。

また、室内環境に起因する健康被害（アレルギー、シックハウス症候群）の軽減と未然防止のため、情報提供、個別相談等を実施しました。

## 3 動物保護対策

犬に係る苦情やこう傷事故の処理を通じて、正しい飼い方の指導を行いました。また、飼養動物等に係わる苦情処理及び相談業務を行いました。

## 4 医薬品等の安全性確保

薬局、医薬品販売業、医薬品製造業等の監視指導を実施しました。

毒物劇物による危害を防止するため、毒物劇物販売業、毒物劇物業務上取扱者等に対し、毒物劇物の適正な取り扱いを指導しました。

また、薬物乱用防止啓発として、各種啓発資材の配布を行うとともに、関係機関との連絡調整に努めました。

## 1 環境衛生営業施設等の衛生確保

### (1) 環境衛生営業施設数及び監視指導状況

環境衛生関係営業施設の構造設備、衛生措置等について、監視指導を実施しました。

業種	項目	施設数	市町別施設数内訳			許可(確認) 件数	廃止 件数	監視指導 件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町			
理容所		125	89	25	11	1	3	37
美容所		402	260	107	35	25	26	163
クリーニング所		168	110	45	13	4	9	73
旅館		78	48	5	25	6	8	56
興行場		5	3	1	1	8	8	56
公衆浴場		28	20	4	4	1	1	12
計		806	530	187	89	45	55	397

### (2) 水浴場等施設数及び監視指導状況

水浴場、更衣休憩所及びプールの衛生管理と危険防止策について、監視指導を実施しました。

業種	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導 件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
水浴場		7	3	1	3	81
更衣休憩所		71	23	32	16	677
プール		30	18	7	5	28
計		108	44	40	24	786

### (3) 講習会開催状況

対象者	開催回数	参加人員
水浴場関係営業	3	117
旅館業	2	75
美容所営業	1	168
計	6	360

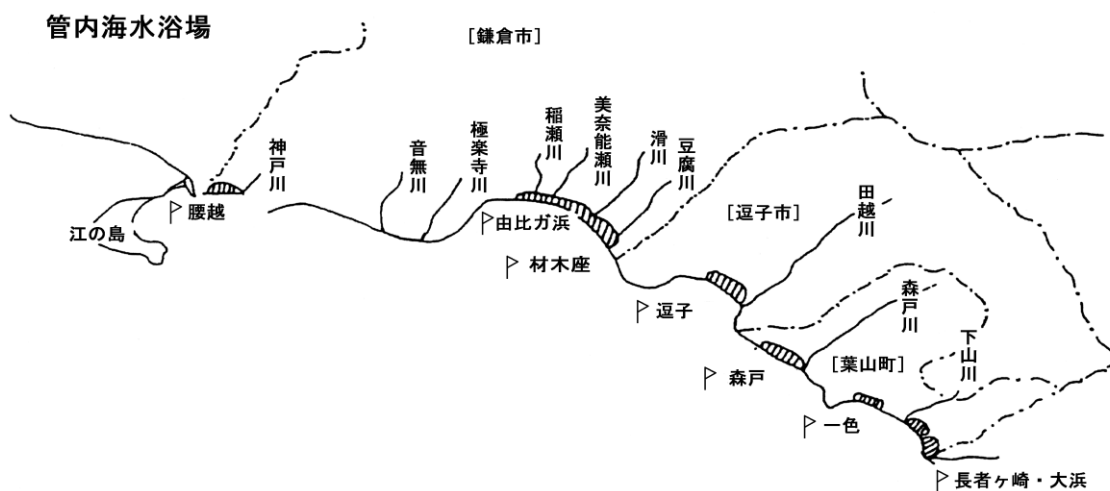
### (4) 免許事務取扱い件数

業種	免許申請	書換・訂正	免許返納
クリーニング師	—	—	1

(5) 海水浴場の水質検査実施状況

管内7海水浴場（10地点）の水質検査を実施しました。

海水浴場	実施時期	ふん便性大腸菌群数 ( 個/100ml )		C O D ( mg/ l )		透明度 (m)	p H MIN~MAX	油膜	判定	
		MIN~MAX	平均値	MIN~MAX	平均値					
鎌倉	腰越	シーズン前	<2	<2	1.8~2.2	2.1	1<	8.3~8.4	無	B
		シーズン中	<2	<2	2.0~3.3	2.8	1<	8.3	無	B
	由比ガ浜	シーズン前	<2~6	<2	1.3~2.0	1.9	1<	8.3	無	AA
		シーズン中	<2~26	3	1.9~3.5	2.8	1<	8.2~8.3	無	B
	材木座	シーズン前	<2	<2	1.3~1.9	1.7	1<	8.3	無	AA
		シーズン中	<2	<2	1.8~4.0	2.6	1<	8.2~8.3	無	B
逗子	シーズン前	<2	<2	1.5~1.9	1.8	1<	8.3	無	AA	
	シーズン中	<2~6	<2	1.7~3.4	2.4	1<	8.2~8.3	無	B	
葉山	長者ヶ崎・大浜	シーズン前	<2	<2	1.3~19	1.7	1<	8.2~8.3	無	AA
		シーズン中	<2	<2	1.4~2.1	1.8	1<	8.2	無	AA
	一色	シーズン前	<2	<2	1.4~1.8	1.7	1<	8.3	無	AA
		シーズン中	<2	<2	1.4~2.0	1.8	1<	8.2	無	AA
	森戸	シーズン前	<2	<2	1.6~2.2	1.9	1<	8.3	無	AA
		シーズン中	<2~18	7	1.7~2.4	2.0	1<	8.2	無	A





## 2 生活環境施設等の衛生確保

### (1) 浄化槽設置基数及び監視指導状況

浄化槽の設置届の受理及び立入検査等を行い、設置者等に対し適正な維持管理指導を実施しました。

#### ア 市町村別設置基数と監視指導件数

設置基数 (合計)	市 町 別 設 置 基 数 内 訳			監視指導件数
	鎌倉市	逗子市	葉山町	
19,795	10,718	475	8,602	43

#### イ 浄化槽基数の推移 (5年間)

年 度	市町名			
	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
2010 (平成22) 年度	10,721	497	8,816	20,034
2011 (平成23) 年度	10,713	489	8,769	19,971
2012 (平成24) 年度	10,719	485	8,667	19,871
2013 (平成25) 年度	10,723	484	8,599	19,806
2014 (平成26) 年度	10,718	475	8,602	19,795

#### ウ 大規模浄化槽の監視指導

処理対象人員	基 数	監視指導件数
501～2,000人	3	3
2,001人以上	1	1
計	4	4

#### エ 浄化槽届出状況

区 分	項 目			
	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
2013(平成25)年度末設置数	10,723	484	8,599	19,806
2014(平成26)年度設置数	13	0	60	73
2014(平成26)年度廃止数	18	9	57	84
2014(平成26)年度末設置数	10,718	475	8,602	19,795

### (2) 浄化槽保守点検業者登録数及び監視指導状況

保守点検業務が適正に行われるよう、営業所の監視指導を実施しました。

登録業者数	登録営業所数	監視指導件数
18	5	5

### (3) 特定建築物施設数及び監視指導状況

特定建築物 (建築延面積3000㎡以上の特定用途に供する建物。学校は同8000㎡以上のもの) の衛生的環境を確保するため、立入検査及び指導を実施しました。

業 種	市町名	施設数	市 町 別 設 置 基 数 内 訳			監視指導件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
興 行 場		3	1	1	1	0
集 会 場		2	2	—	—	0
美 術 館		1	—	—	1	1
店 舗 舗		14	10	3	1	8
事 務 所		6	4	1	1	0
学 校		6	4	2	—	2
そ の 他 の 学 校		3	1	—	2	0
旅 館		8	5	—	3	1
遊 技 場		1	1	—	—	0
計		44	28	7	9	12

(4) 建築物登録業営業所数及び監視指導状況

衛生管理業務が適正に行われるよう、営業所の監視指導を実施しました。

業種	項目	登録営業所数	市町別施設数内訳			監視指導件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
清掃業		3	1	1	1	2
空気環境測定業		1	—	1	—	0
貯水槽清掃業		7	5	2	—	2
ねずみ昆虫等防除業		4	2	2	—	1
総合管理業		1	—	1	—	0
計		16	8	7	1	5

(5) 水道施設数及び監視指導状況

専用水道及び簡易専用水道（受水槽の有効容量が10m<sup>3</sup>を超える施設）について、維持管理指導を実施しました。

種別	項目	施設数(葉山町)	監視指導件数
専用水道		2	2
簡易専用水道		55	3
計		57	5

(6) 小規模水道等施設数及び監視指導状況

小規模受水槽水道（受水槽の有効容量が10m<sup>3</sup>以下の施設）について、維持管理指導を実施しました。

種別	項目	施設数(葉山町)	監視指導件数
小規模受水槽水道		58	2

(7) 住まいと健康サポートシステムの推進

住環境に起因すると思われる健康被害の改善や発生を防止するため、県民へ住まいや住まい方に関する情報を提供するとともに、個別相談を受け、必要に応じて居住環境調査を実施しました。

ア 相談処理状況

項目	室内空気環境	昆虫等	その他	計
件数	1	65	4	70

イ 居住環境調査実施状況

項目	虫の同定
件数	11

(8) 温泉施設数及び監視指導状況

種別	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
源泉		7	5	1	1	5
利用施設		6	3	1	2	6

(9) 苦情・相談等処理状況

項目	浄化槽	ねずみ、昆虫等	水道、井戸関係	その他	計
件数	24	70	5	30	129

### 3 動物保護対策

#### (1) 飼えなくなった犬、猫の引き取り

区分	項目	市町別頭数内訳			頭数計
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
	犬	7	0	0	7
	猫	1	0	0	1
	計	8	0	0	8

#### (2) こう傷事故の発生状況

こう傷犬の狂犬病罹患の有無を確認するとともに、事故の再発防止のため、飼い主に対し飼育管理指導を実施しました。

項目	市町別件数内訳			計
	鎌倉市	逗子市	葉山町	
件数	11	4	6	21

#### (3) 犬、猫等の苦情相談の処理状況

項目	捕獲依頼	引取依頼	飼育公害	負傷猫	失踪保護	その他	計
件数	4	1	79	9	164	0	257

#### (参考事項)

##### 市町の犬の登録及び狂犬病予防注射実施状況

##### ア 犬の登録頭数

区分	項目	市町別頭数内訳			頭数計
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
	登録頭数	10,938	3,748	2,602	17,288

##### イ 犬の登録頭数の推移

年度	市町名	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
2010（平成 22）年度		11,294	3,790	2,608	17,692
2011（平成 23）年度		11,217	3,860	2,722	17,799
2012（平成 24）年度		11,110	3,837	2,668	17,615
2013（平成 25）年度		11,147	3,758	2,662	17,567
2014（平成 26）年度		10,938	3,748	2,602	17,288

##### ウ 犬の新規登録及び狂犬病予防注射の実施

区分	項目	市町別頭数内訳			頭数計
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
	新規登録	685	240	154	1,079
	狂犬病予防注射	8,497	2,983	2,013	13,493

## 4 医薬品等の安全性確保

### (1) 薬局・医薬品販売業等施設数及び監視指導状況

薬局、医薬品販売業及び製造業等に対し、医薬品等の取り扱い・管理状況等について、監視指導を実施しました。

種別		項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
				鎌倉市	逗子市	葉山町	
薬局			132	94	33	5	70
医薬品販売業	店舗販売		33	22	6	5	24
	卸売販売		4	3	—	1	1
	薬種商販売		0	—	—	—	—
	特例販売		0	—	—	—	—
	小計		37	25	6	6	25
薬局医薬品製造業			8	8	—	—	0
薬局医薬品製造販売業			8	8	—	—	0
医薬品等製造業・製造販売業			17	8	5	4	4
高度管理医療機器等販売・賃貸業			96	68	21	7	48
管理医療機器販売・賃貸業			466	326	107	33	106
計			764	537	172	55	253

### (2) 薬局・医薬品販売業等許可・届出取扱件数

種別		項目	新規許可等	許可更新	許可証書換	許可証再交付	変更届	廃止届	承認整理届	計
薬局			8	6	1	—	454	5	—	474
医薬品販売業	店舗販売		3	—	—	—	86	2	—	91
	卸売販売		—	1	—	—	2	—	—	3
	薬種商販売		—	—	—	—	—	—	—	0
	特例販売		—	—	—	—	—	—	—	0
	小計		3	1	0	0	88	2	0	94
薬局医薬品製造業			—	—	—	—	5	—	—	5
薬局医薬品製造販売業			—	—	—	—	5	—	—	5
高度管理医療機器等販売・賃貸業			15	6	1	—	55	2	—	79
管理医療機器販売・賃貸業			75	—	—	—	25	4	—	104
計			101	13	2	0	632	13	0	761

### (3) 毒物・劇物販売業等施設数及び監視指導状況

毒物劇物による保健衛生上の危害を防止するため、毒物劇物販売業者、業務上取扱者の監視指導を実施しました。

種別		項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
				鎌倉市	逗子市	葉山町	
毒物劇物販売業	一般販売		51	34	14	3	25
	農薬用品目販売		4	3	1	—	—
	特定品目販売		1	—	1	—	—
	小計		56	37	16	3	25
業務上取扱者	電気めっき業		1	1	—	—	—
	熱処理業		1	1	—	—	—
	小計		2	2	0	0	0
毒物劇物製造・輸入業			3	3	—	—	—
特定毒物研究者			3	3	—	—	—
計			64	45	16	3	25

(4) 毒物・劇物販売業等登録・届出取扱い件数

種別	項目	新規登録	登録更新	登録票書換	登録票書再交付	取扱責任者設置届	取扱責任者変更届	変更届	廃止届	計
		毒物劇物販売業	一般販売	4	6	1	—	4	11	3
	農業用品目販売	—	—	—	—	—	1	—	—	1
	特定品目販売	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	小計	4	6	1	0	4	12	3	3	33
業務上取扱者	電気めっき業	—	—	—	—	—	—	2	—	2
	熱処理業	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	小計	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	計	4	6	1	0	4	12	5	3	35

(5) 麻薬等業務所数及び監視指導状況

麻薬業務所に対し、麻薬の適正管理について、監視指導を実施しました。

種別	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
麻薬業務所	診療施設(病院)	14	11	2	1	18
	〃(診療所)	113	72	33	8	5
	〃(動物診療所)	33	20	9	4	1
	小売業	107	79	23	5	59
	卸売業	0	—	—	—	—
	研究施設	5	5	—	—	4
	向精神薬研究施設	6	6	—	—	3
	計	278	193	67	18	90

(6) 麻薬免許事務等取扱い件数

ア 麻薬取扱者免許関係

免許の別	項目	免許申請			変更届	廃止届	返納届	再交付	計
		新規	継続	計					
麻薬研究者		2	0	2	1	1	0	—	6
麻薬管理者		7	21	28	1	10	17	—	84
麻薬施用者		95	233	328	108	17	145	1	927
麻薬小売業者		10	50	60	24	5	51	—	200
麻薬卸売業者		—	—	—	—	—	—	—	0
	計	114	304	418	134	33	213	1	1,217

イ 麻薬業務所関係

種別	項目	廃業届	調剤済廃業届	所有届	譲渡届	事故届	年間届	計
麻薬診療施設		14	81	11	2	13	153	274
麻薬小売業施設		26	14	6	3	0	106	155
麻薬卸売業者		—	—	—	—	—	—	0
麻薬研究施設		1	—	1	—	—	6	8
	計	41	95	18	5	13	265	437

ウ 向精神薬関係

種別	項目	登録申請	変更届	廃止届	年間届	事故届	計
向精神薬研究施設		—	2	—	6	—	8
診療施設・薬局		—	—	—	—	—	0
	計	0	2	0	6	0	8

(7) 覚せい剤取扱者数及び監視指導状況

覚せい剤取扱者等の指定を受けた者に対し、覚せい剤等の適正管理について、監視指導を実施しました。

指定の別	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導 件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
覚せい剤研究者		2	2	—	—	1
覚せい剤原料取扱者		1	1	—	—	1
計		3	3	0	0	2

(8) 覚せい剤事務取扱い件数

指定の別	項目	新規申請	継続申請	廃棄届	変更届	廃止届	失効報告	年間届	計
覚せい剤研究者		1	1	—	—	—	—	2	4
覚せい剤原料取扱者		—	—	2	—	—	—	—	2
計		1	1	2	0	0	0	2	6

(9) 薬物乱用防止啓発活動

薬物乱用防止街頭キャンペーン、講演会及び学校等における薬物乱用防止教室を通して、薬物乱用防止の啓発を実施しました。また、関係機関及び団体で構成する地域連絡会を開催し、薬物乱用防止に関する連絡調整を行い、一層の普及啓発に努めました。

ア 啓発キャンペーン

月 日	場 所	内 容
5月3日	湘南国際村	・「湘南国際村フェスティバル2014」にて、啓発用リーフレット及び啓発物品の配布
11月5日	鎌倉・大船駅周辺	・「青少年健全育成推進街頭キャンペーン」との合同実施による、啓発用リーフレット及び啓発物品の配布
10月19日	鎌倉生涯学習センター	・「くすりと健康フェアかまくら」との合同実施による、啓発用リーフレット及び啓発物品の配布

イ 地域連絡会

月 日	場 所	内 容	出席人員
3月2日	鎌倉保健福祉事務所	各機関及び団体における薬物乱用防止活動の状況について	13

ウ 薬物乱用防止研修会

月 日	場 所	内 容	参加人員
6月20日	鎌倉保健福祉事務所	対象 薬物乱用防止指導員 講話 「薬物乱用防止教室の実際について」 講師 保護司（鎌倉地区、逗葉地区）	9

エ 薬物乱用防止講演会

月 日	場 所	内 容	参加人員
2月10日	鎌倉商工会議所	演題 「薬物乱用防止のために～危険ドラッグに手を出す前に～」 講師 臨床心理士	56

オ 薬物乱用防止教室

月 日	場 所	内 容	参加人員
2月6日	鎌倉保健福祉事務所	対象 行政職員 講演 「薬物乱用防止教室」 講師 当所 薬事監視員	24
3月17日	県立逗子高校	対象 高校2年生 講演 「薬物乱用防止教室」 講師 当所 薬事監視員	288

# 第7章 食品衛生課



# 食 品 衛 生 課 業 務

食品衛生法に基づき、食品関係営業の許認可及び監視指導、食品等の収去検査、食品衛生責任者等に対する講習会を行い、食中毒の予防に努め、食品の安全性確保を図っています。

## 1 食品営業施設の許認可事務及び監視指導

食品衛生法に基づく営業許可、県条例に基づく営業許可、県条例に基づく報告営業及び給食施設について許認可事務を行うとともに監視指導を実施し、食品事故の発生防止に努めました。また、調理師免許等の関係事務を行いました。

## 2 食品等の収去検査

食品、添加物、器具及び容器包装の収去検査において、消費量の多いものや食品事故の原因となりやすい食品等を重点的に食品営業施設から抜き取り検査し、不良食品等の排除に努めました。

## 3 普及啓発の実施

食品営業者または食品衛生責任者等を対象に、食品の衛生的取扱い、食中毒予防、自主管理等についての講習会を業種別、地域別等に開催し、食品衛生知識の普及向上に努めました。

## 4 食中毒等の処理

食中毒が疑われる事例に際し、原因究明のための迅速かつ的確な調査を実施し、食品営業者に対し、適切な措置を講ずるための指導に努めました。

## 5 食品関係等の苦情処理

消費者等からの食品等の苦情について迅速かつ的確な処理を行い、再発防止に努めました。

# 1 食品営業施設の許認可事務及び監視指導

食品営業施設の許認可事務を行うとともに監視指導を実施し、食品事故の発生防止に努めました。  
また、調理師免許等の関係事務を実施しました。

## (1) 許可を要する営業施設

種別	項目	施設数				許可取扱数		廃業 件数	監視指 導件数
		鎌倉市	逗子市	葉山町	計	継続	新規		
飲食店営業		2,203	395	286	2,884	271	403	327	2,393
菓子(パンを含む)製造業		230	43	41	314	27	40	21	218
乳処 理 業		—	—	—	0	—	—	—	—
特別牛乳搾取処理業		—	—	—	0	—	—	—	—
乳製品製造業		3	—	—	3	—	1	1	3
集 乳 業		—	—	—	0	—	—	—	—
魚介類販売業		150	40	32	222	30	22	15	284
魚介類競り売り営業		1	1	—	2	—	—	—	—
魚肉練り製品製造業		2	1	—	3	—	—	—	4
食品の冷凍・冷蔵業		—	—	—	0	—	—	—	—
食品の放射線照射業		—	—	—	0	—	—	—	—
缶詰又は瓶詰食品製造業		1	—	1	2	—	—	—	3
喫茶店営業		223	29	30	282	26	26	18	76
あん類製造業		1	—	—	1	—	—	—	4
アイスクリーム類製造業		7	—	2	9	1	3	1	12
乳類販売業		278	72	44	394	42	20	26	281
食肉処 理 業		4	2	—	6	—	1	—	22
食肉販売業		124	41	25	190	30	17	12	236
食肉製品製造業		3	—	1	4	—	1	—	9
乳酸菌飲料製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
食用油脂製造業		1	—	—	1	—	1	—	1
マーガリン又はショートニング製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
みそ製造業		2	—	1	3	—	1	—	3
しょう油製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
ソース類製造業		1	—	—	1	1	—	—	1
酒類製造業		1	1	—	2	—	—	—	3
豆腐製造業		11	1	1	13	—	—	—	16
納豆製造業		1	—	—	1	—	—	—	4
めん類製造業		7	1	—	8	—	1	—	11
総菜製造業		21	4	4	29	3	5	3	12
添加物製造業		—	—	1	1	—	—	—	1
清涼飲料水製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
氷雪製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
氷雪販売業		2	2	2	6	1	—	—	6
小計(1)		3,277	633	471	4,381	432	542	424	3,603
県 条 例	魚介類行商	4	2	2	8	1	1	1	3
	魚介類加工業	11	6	5	22	4	3	—	26
	はつ酵乳等販売業	10	1	2	13	1	—	7	4
小計(2)		25	9	9	43	6	4	8	33
計		3,302	642	480	4,424	438	546	432	3,636

(2) 許可を要しない営業施設

種別	項目	市 町 別 施 設 数				新規件数	廃業件数	監視指導件数
		鎌倉市	逗子市	葉山町	計			
給食施設	学 校	27	8	6	41	—	—	48
	病 院 ・ 診 療 所	6	2	2	10	—	1	4
	事 業 所	1	—	2	3	—	1	5
	そ の 他	48	14	10	72	7	5	48
乳 搾 取 業		—	—	—	0	—	—	—
食 品 製 造 業		121	17	23	161	8	3	36
野 菜 ・ 果 物 販 売 業		290	87	47	424	14	9	201
総 菜 販 売 業		188	62	28	278	15	8	240
菓 子 (パ ン を 含 む) 販 売 業		656	151	96	903	55	28	333
食 品 販 売 業 (上 記 以 外)		746	174	117	1,037	61	27	457
器 具 ・ 容 器 包 装 ・ お も ち ゃ の 製 造 又 は 販 売 業		181	43	28	252	14	6	200
食 品 添 加 物 の 製 造 業		—	—	1	1	—	—	7
食 品 添 加 物 販 売 業		21	6	5	32	4	1	33
氷 雪 採 取 業		—	—	—	0	—	—	—
計		2,285	564	365	3,214	178	89	1,612

(3) 営業施設数の年度別推移 (5年間)

種 別		2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		(平成22年度)	(平成23年度)	(平成24年度)	(平成25年度)	(平成26年度)
許 可 を 要 す る 施 設	政 令 分	4,196	4,170	4,180	4,263	4,381
	条 例 分	57	58	48	47	43
許 可 を 要 し な い 施 設		2,949	2,974	3,052	3,125	3,214

(4) 調理師免許等関係事務の取扱い

区 分	新 規	書 換	再 交 付
調 理 師	76	9	5
製 菓 衛 生 師	2	1	1
ふ ぐ 包 丁 師	4	3	1
計	82	13	7

## 2 食品等の収去検査

消費量の多いものや食品事故の原因となりやすい食品等を重点的に食品営業施設から抜き取り検査し、不良食品等の排除に努めました。

### (1) 食品等の品目別検査結果

項目 品目	収去 検体数	不適 検体数	不適内訳	
			細菌試験	理化学試験
魚介類	5	0	0	—
冷凍食品	—	—	—	—
魚介類加工品 (缶詰・瓶詰を除く)	4	0	0	—
肉卵類及びその加工品 (缶詰・瓶詰を除く)	4	0	0	0
乳及び乳製品	—	—	—	—
乳類加工品	—	—	—	—
アイスクリーム類・氷菓	10	3	3	—
穀類及びその加工品 (缶詰・瓶詰を除く)	7	0	0	0
野菜類・果物及びその加工品 (缶詰・瓶詰を除く)	20	0	0	0
菓子類	23	0	0	—
清涼飲料水	—	—	—	—
酒精飲料	—	—	—	—
缶詰・瓶詰食品	—	—	—	—
その他の食品	60	0	—	—
添加物	—	—	—	—
器具及び容器包装	2	0	—	0
おもちゃ	—	—	—	—
計	135	3	3	0

### (2) 検体数及び不適検体数の年度別推移(5年間)

区分	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)
検体数	106	135	135	135	135
不適検体数	0	1	1	2	3

### 3 普及啓発の実施

食品営業者または食品衛生責任者等を対象に、食品の衛生的取扱い、食中毒予防、自主管理等について講習会を業種別、地域別等に開催し、食品衛生知識の普及向上に努めました。

#### (1) 食品衛生講習会の実施状況

区分		開催回数	参加人員	内 容
営業者関係	食品衛生責任者	33	2,093	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品衛生管理運営基準</li> <li>・食中毒予防</li> </ul>
	上記以外	—	—	
	計	33	2,093	
消費者		3	47	・食中毒予防

### 4 食中毒等の処理

食中毒が疑われる事例の発生に際し迅速かつ的確な調査を実施し、原因究明に努めました。

食中毒と決定した事例は1件ありました。

#### (1) 食中毒の発生状況

発生日	摂食者数	患者数	死亡者数	原因食品	病因物質	原因施設
2014年9月30日	2	1	0	寿司（イナダ、サンマ、カマス）	アニサキス	飲食店営業（すし屋）

### 5 食品関係等の苦情処理

食品等の苦情について迅速かつ的確な処理を行い、再発防止に努めました。

#### (1) 食品等の苦情処理

種別	項目	異物混入	かび	腐敗	異味異臭	不衛生	容器包装の不良	有症情	その他	計
施設等に関するもの		—	—	—	—	8	—	—	3	11
食品に関するもの	乳・乳製品・乳類加工品（直接飲用に供する物）	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	乳・乳製品・乳類加工品（上記以外の物）	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	魚介類及びその加工品	1	—	—	—	2	—	9	1	13
	卵・肉類及びその加工品	1	—	—	—	—	—	1	2	4
	穀類及びその加工品	1	1	—	—	—	—	—	—	2
	豆類及びその加工品	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	野菜類及びその加工品	2	—	—	—	2	—	—	—	4
	菓子類	5	—	—	—	2	1	—	2	14
	複合調理食品	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	その他の食品	11	—	—	—	2	5	—	25	6
小計		21	1	0	6	16	—	37	17	98
計		21	1	0	6	16	0	37	17	98

#### (2) 苦情処理件数の年度別推移（5年間）

年度	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)
件数	94	93	88	110	98